

第5章

地域別構想

地域別構想とは.....	63
1 六地蔵地域.....	67
2 黄檗地域.....	75
3 宇治地域.....	85
4 槇島地域.....	95
5 小倉地域.....	103
6 大久保地域.....	111
7 山間地域.....	119



第5章 地域別構想

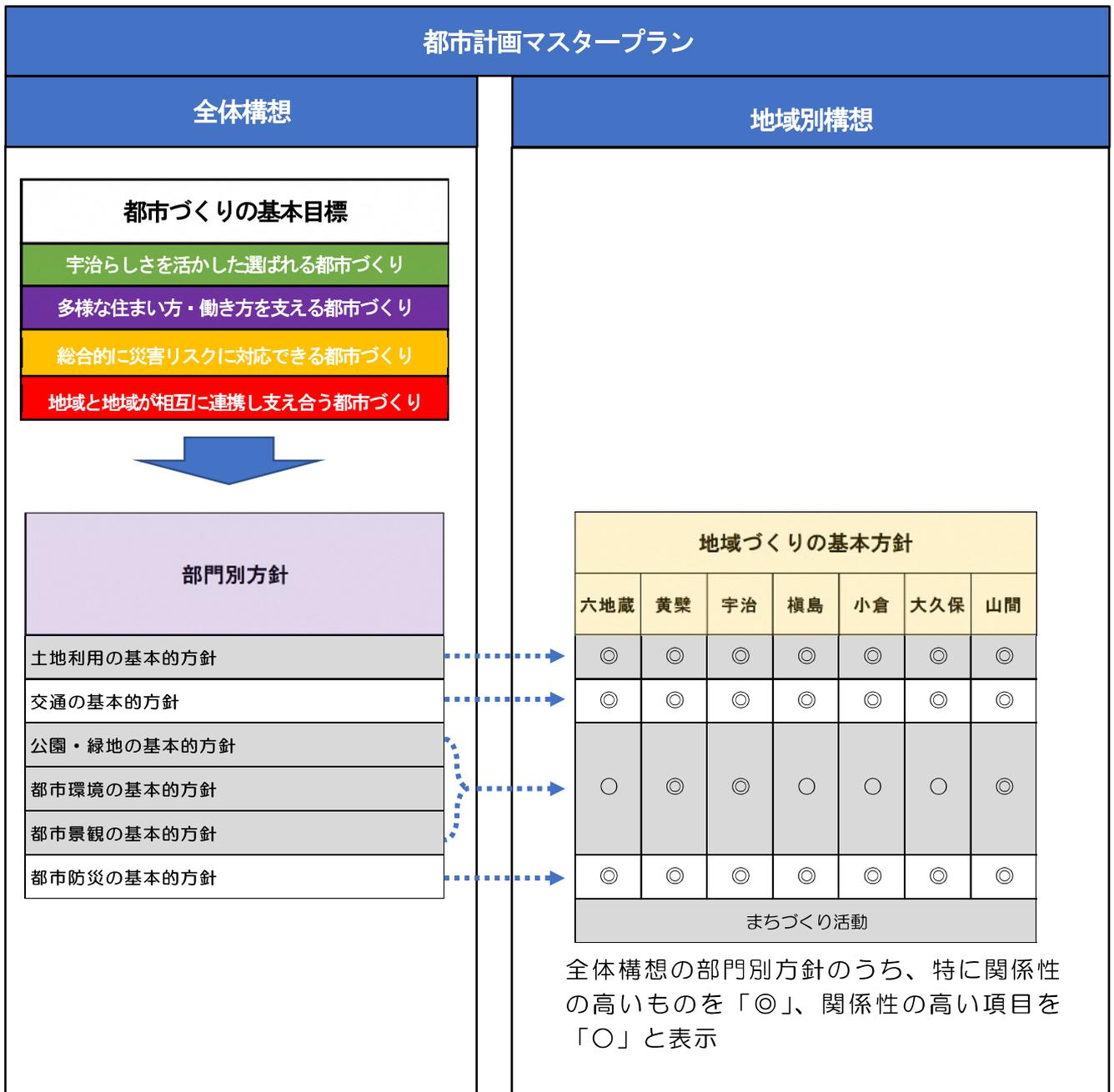
地域別構想とは

■ 地域別構想の位置づけ

全体構想は、宇治市全域を対象として、都市のあるべき姿を示したものです。市民の立場から見ると、自分の住む地域の具体的な姿が分かりにくい面があります。

そのため、この地域別構想は、市民の生活圏に合わせた地域に分割し、今後のまちづくりに必要な方策を盛り込んだ地域ビジョン（市民と行政がパートナーシップによるまちづくりを進めていくための基礎的な資料）として位置づけます。

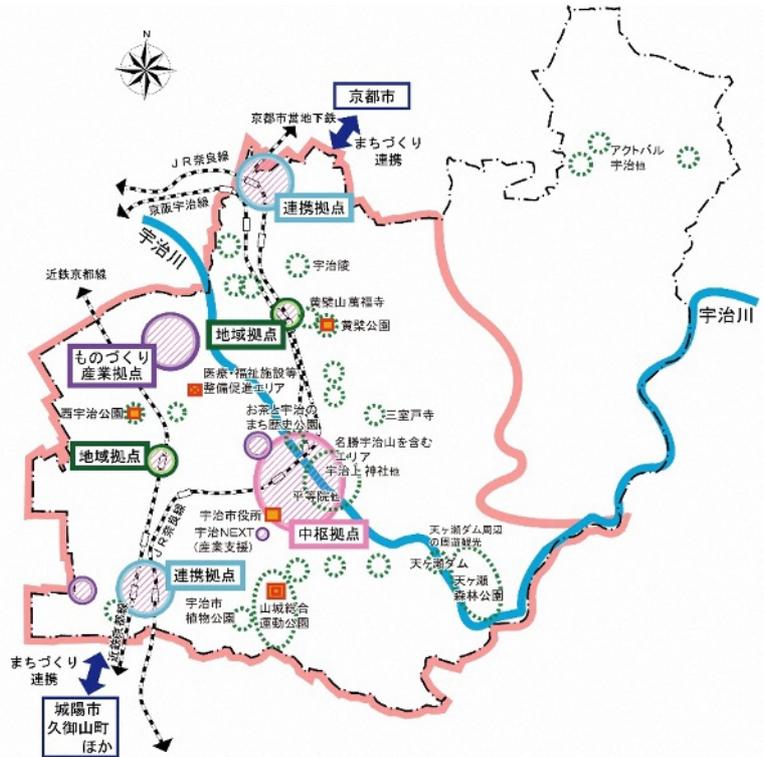
■ 全体構想と地域別構想の関係性



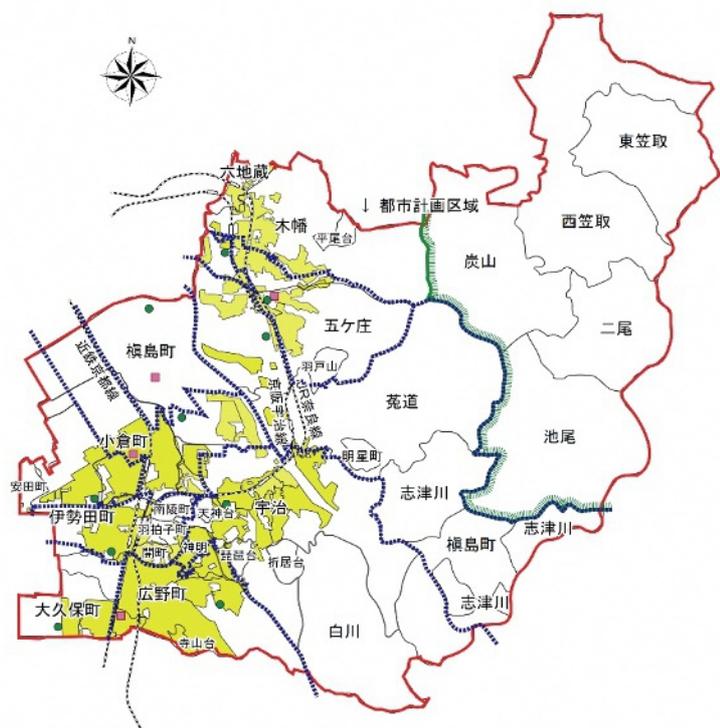
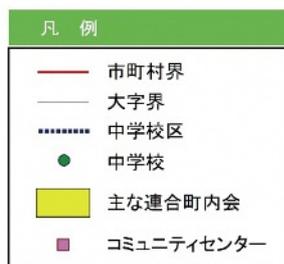
■地域区分について

地域区分は、次の事柄を踏まえながら設定しました。

- ①「将来都市構造図」で示す「中枢拠点」のある「宇治地域」、「連携拠点」のある「六地蔵地域」・「大久保地域」、「地域拠点」のある「黄檗地域」・「小倉地域」、「ものづくり産業拠点」のある「槇島地域」を中心に、地域を区分しました。



- ②宇治市のコミュニティの単位として設定した「中学校区」を考慮しました。
- ③自分の住んでいる場所がどこの地域に当てはまるのか理解しやすいように、住所の大きなくくりである「大字界」を考慮しました。
- ④町内会などの連合単位や都市計画上の大きな位置づけである「都市計画区域」の境界も考慮しました。





■地域別構想の策定過程

市民のみなさんとともに考え策定した既存の地域別構想を活かし、まちづくりオープンハウスや意見交換会で市民のみなさんと一緒に地域レベルのこれからのまちづくりを考えながら新たな「地域別構想」を策定しました。

地域のみなさんと一緒に考え、より良い計画を策定するため、各地域を対象として市内10会場でまちづくりオープンハウスと意見交換会を開催しました。オープンハウスでは、開催時間内に自由にご来場いただき、説明パネル等の展示とあわせ、市の職員がまちづくりの取り組み状況などについて情報提供や説明をしながら、これからのまちづくりについて話し合いました。まちづくりオープンハウスと意見交換会を通じて、地域ごとの課題やこれからのまちづくりについて一緒になって考え、その成果を活かしながら「地域別構想」を策定しました。

オープンハウスの様子

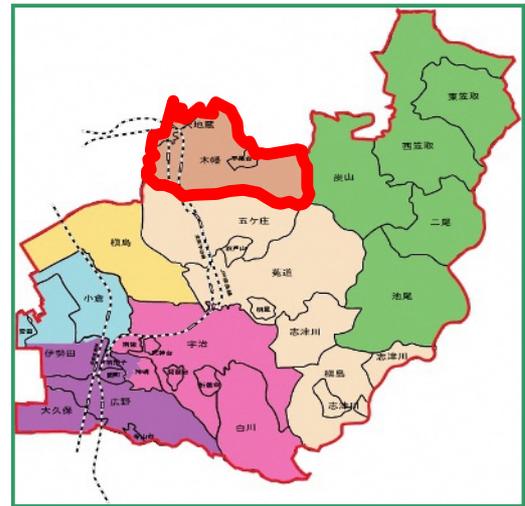


意見交換会の様子



1 六地蔵地域

(六地蔵・木幡・平尾台)



(1) 地域の特徴

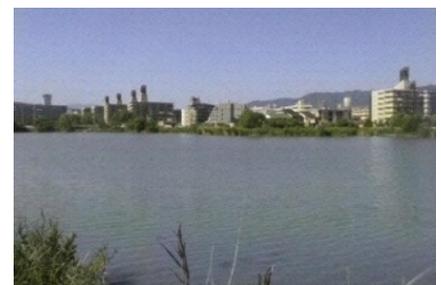
六地蔵エリア

- 宇治市の北端に位置し、JR 奈良線や京阪宇治線、京都市営地下鉄の鉄道ネットワーク、主要地方道 大津宇治線や主要地方道京都宇治線など、本市の主要道路が集中しており、利便性の高い地域です。
- 多様な交通ネットワークを活かし、京都市域と一体となった快適でにぎわいや活力ある都市空間が形成されている地域です。



木幡エリア

- JR 木幡駅・京阪木幡駅を中心とした住宅地と周辺の山間部を有する地域です。
- 木幡池、松殿山荘や宇治陵など水とみどり豊かで身近な自然に囲まれた地域です。
- 許波多神社や茶畑など地域特有の文化、歴史遺産に囲まれた落ち着いた居住環境が形成されている地域です。



はじめに

宇治市の現状と課題

都市づくりの基本理念と基本目標

部門別方針

地域別構想

参考資料

（２）地域の現状

<p>土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ JR 六地藏駅周辺では、市民ニーズの変化などから大型商業施設やホテルなどが撤退しました。 ○ 主要地方道京都宇治線より東側は、主として住宅地が中心であり、地域の約 6 割を占めています。
<p>交通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 府道京都宇治線や京都市道外環状線では、朝夕の渋滞が続いており、地域内の道幅が狭い生活道路には、車の流入が多くなっています。 ○ 北の玄関口としてふさわしい幹線道路（主要地方道大津宇治線、サポート道路）の整備を進めています。 ○ JR 奈良線の複線化に併せて JR 六地藏駅の駅舎の改築、駅前広場整備を行っています。 ○ JR 六地藏駅周辺施設への移動経路には、歩道は概ね整備されていますが、JR 六地藏駅のホームは狭いところがあります。
<p>公園・緑地・環境・景観</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 木幡南山周辺のまとまったみどりや、栄華を極めた藤原氏一門の陵墓としても知られる宇治陵周辺のみどり、地域全域にわたって散在している茶畑、東宇治浄化センターも含めたその西側にもうるおいのあるみどりが残されています。 ○ 宇治市と伏見区にまたがる湿地帯を含む広大な池沼「木幡池」は、野鳥が飛来し、花とみどり豊かな地域資源として親しまれています。
<p>都市防災</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 過去に宇治川などの氾濫でたびたび被害に遭っており、浸水被害の危険性が危惧されます。 ○ 密集市街地等や老朽化した住宅が多い地区では、災害時に緊急車両が通れない生活道路の状況など防災体制の低さが見受けられます。 ○ 近年の頻発化、激甚化する水害等により、浸水や土砂災害など災害リスクが高い地域があります。

（３）これからの地域づくりの主な課題

<ul style="list-style-type: none"> ■ 商業ニーズの変化、ホテル撤退など文化交流機能の低下、住宅ニーズの増大等の市民ニーズの変化を踏まえ、広域的な交通結節点としてのにぎわいのあり方の検討が必要です。 ■ 丘陵地の低層住宅専用地域では良好な住環境保全のため日常の買物・サービス店舗の立地が規制されており、市民ニーズを踏まえた検討が必要です。 ■ 交通結節性の充実を活かしたまちの魅力の維持・向上のため隣接する京都市との一体性や相互効果によるまちの強化が必要です。 ■ 地域内には洪水浸水想定区域などが存在することから、ハザードマップなどによる災害リスクの共有と、既成市街地における防災能力の向上が必要です。 ■ 御蔵山周辺のみどり豊かで閑静な住宅地の維持や、六地藏周辺の都市機能と生活環境の向上など、安全かつ快適で文化的なまちづくりのため市民と行政のパートナーシップによる将来のまちの姿を共有し実現していく必要があります。
--

（４）これからの地域づくりのテーマ

現状と課題、地域意見を踏まえ地域づくりのテーマを次のように設定します。

六地藏エリア

交通利便性の高さを活かしたにぎわいと活力あるまちづくり

安心して歩けるまち

人々の交流の活性化

商業地と住宅地の回遊性を高める

木幡エリア

自然（木幡池・宇治陵）や文化・歴史（許波多神社・松殿山荘・お茶）の保全

住宅地内の通過交通を低減し、安心して歩ける暮らしの道づくり

災害リスクに対応できるまちづくり

（５）地域づくりの基本方針

地域づくりのテーマを実現していくための基本方針を、各部門において次のように設定します。

① 土地利用の方針

1) 住宅地

● 快適な生活環境を有する住宅地の形成

住宅が密集している区域では、地区計画の活用などにより必要な都市基盤を検討するなど災害に強く安全・安心に居住できる良好な住宅地の形成をめざします。

また、高齢化の進行等による身近な買物・サービス施設の必要性など市民ニーズの変化に対し、土地利用の方針を踏まえ、立地の妥当性、周辺環境への影響を考慮した総合的な住宅地の形成を検討します。

● 自然や文化・歴史的遺産に囲まれた落ち着いた落ち着きのある低層住宅地の形成

文化・歴史的遺産に囲まれた落ち着いた落ち着きのある低層住宅地の形成をめざします。

特に、宇治陵周辺の住宅地では、歴史的遺産がつくる景観を損なわぬよう、高さや形態、色彩に配慮するとともに、身近なみどりを配した居住環境づくりをめざします。

2) 商業地

●北の玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出

連携拠点として、鉄道駅と連携した快適な歩行空間の充実を図るなど、回遊できるまちづくりに努めるとともに、市民の商業ニーズの変化を踏まえ地域の特性をいかした魅力ある商業・業務集積を誘導します。

京都市域と一体となった業務施設、住宅などのまちなみを形成していることから、相互効果が期待できるよう地区計画等を活用し、本市の北の玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出を検討します。

3) 工業地

●木幡池周辺の環境に配慮した工業地の形成

木幡池周辺は工場と住宅地が混在していることから、工業の健全かつ適切な土地利用を維持していくとともに、敷地内の緑化を働きかけるなど周辺との調和に努めます。

4) 農地

●茶畑の保全

茶畑を中心とした生産緑地は、六地蔵の風情として市民から愛されていることから、引き続き、保全・活用を図るため、特定生産緑地の指定に努めます。

5) 森林地、緑地等

●地域の重要な資源である東部の森林地、緑地の保全

近郊緑地保全区域に指定されている区域内のみどりは、市街化の拡大の制限や災害発生の防止並びに良好な自然環境、景観および地域との調和をめざし保全します。

② 交通の方針

1) 公共交通

●多様な鉄道網を活かした交通結節機能の強化と公共交通の利用促進

JR、京阪および地下鉄がより一層便利で安全に利用できるよう JR 奈良線の複線化および JR 六地蔵駅の改築など既存公共交通を基盤とした利用促進を図ることで、まちづくりと一体となった交通結節点機能の向上に向けた取組を進めます。

2) 道路

i 幹線道路

●幹線道路の渋滞の緩和等

主要地方道京都宇治線や京都市道外環状線の渋滞緩和を図るための道路ネットワークの充実を進めるとともに、主要地方道京都宇治線および主要地方道大津宇治線については、交通結節点へ向かう歩行者の安全性確保やまちづくりとの連携のため整備・改良を関係機関と協力して進めます。

ii その他道路

● 地域生活を支える生活道路網の整備

市道大瀬戸熊小路線をはじめ地域内の日常生活に密着している主要な道路は、歩行空間の確保等安全性を考慮した整備、改良を検討します。

③ 自然的環境の保全および景観形成等の方針

1) 自然的環境

● 湿地や山地の保全と生活環境の維持・保全

木幡池や近郊緑地保全区域内の市街化調整区域では、自然的土地利用の保全を基調としながら道路沿いの不法投棄の防止に努めるとともに、地域の美化活動、緑化活動など、良好な生活環境の維持・保全に努めます。

特に、木幡池は、治水機能を確保しつつ、関係機関と連携を図り、地域の人々にも身近で親しまれる自然豊かな水辺空間づくりをめざします。

2) 公園・緑地

● 身近にあるみどりの維持・保全

宇治陵や御蔵山聖天など、昔から残る身近なみどりが残されている地域の豊かなみどりの保全に努めます。

3) 文化・歴史的遺産

● 歴史的遺産や神社仏閣等と周辺の樹林地の保全

宇治陵や許波多神社など地域固有の歴史的遺産をはじめ、国の重要文化財である松殿山荘などはその建物だけでなく、歴史を感じさせる樹林地があることから、これらの保全を働きかけます。

4) 景観

● 秩序ある商業地の景観形成

業務施設の集積に伴い懸念される建築物の色彩や、看板、広告物などが周囲の景観と調和した、北の玄関口にふさわしい秩序だった景観が形成されるようなまちづくりをめざします。

● 山並みスカイラインの景観保全

市街地東部にある天下峰などにより形成された山並みスカイラインは宇治らしさを象徴する自然的景観であることから、そのスカイラインを構成する山麓から山頂にかけてのみどりの保全に努めるとともに、山麓の住宅地との調和にも配慮します。

● 旧奈良街道のまちなみ景観保全

旧奈良街道沿いの歴史的遺産は周辺の景観なども含めてその保全に努めるとともに、それらと地域内の各駅周辺や主要施設、緑道などの自然的環境の中を安全に歩ける歩行者空間づくりに努めます。

④ 都市防災の方針

● 浸水に対する防災機能強化

近年の気候変動に対応できるよう堂の川をはじめとする河川・水路の改良を計画的に進めます。また、木幡池（堂の川）の貯留機能は治水上重要な役割を持っていることから、今後、関係機関と連携を図り、治水上の調整機能の維持・向上を図るなど治水対策に努めます。

● 災害リスクの情報共有

地域内には、水災害リスクの高い地域があります。ハザードマップなどを用いて、市民と浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有に努めます。

⑤ まちづくり活動の方針

● パートナースhipによるまちづくり活動の推進

地域住民によるまちづくり活動として、南御蔵山地区ではみどり豊かで閑静な住宅地を維持し、住民の快適で安全な生活を守ることをめざしています。また、JR六地蔵駅周辺地区では、都市機能と生活環境の向上を図り、安全かつ快適で文化的なまちづくりを推進することをめざしています。宇治市では、こうした地域の将来のまちの姿を共有し、住民によるまちづくり活動を支援します。

六地藏地域 地域づくり基本方針図



土地利用の方針

- 快適な生活環境を有する住宅地の形成
- 自然や文化・歴史的遺産に囲まれた落ち着いた低層住宅地の形成
- 北の玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出
- 木幡池周辺の環境に配慮した工業地の形成
- 茶畑の保全
- 地域の重要な資源である東部の森林地、緑地の保全

まちづくり活動の方針

- ◎ パートナーシップによるまちづくりの推進

交通の方針

多様な鉄道網を活かした交通結節機能の強化と公共交通の利用促進

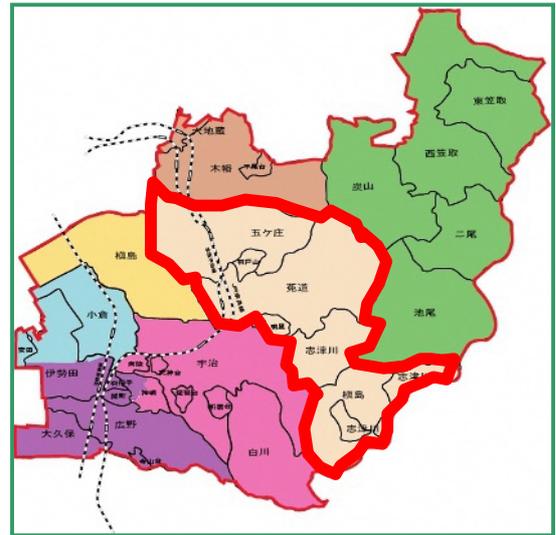
- 交通結節機能の充実 (複線化)
- バスなど公共交通の利用促進
- 地域生活を支える道路網の整備
- 幹線道路の整備
- 主な道路
- 計画路線

自然的環境の保全および景観形成等の方針

- 湿地や山地の保全と生活環境の維持・保全
- 歴史的遺産と周辺の樹林地の保全
- 秩序ある商業地の景観形成
- 山並みスカイラインの景観保全
- 旧奈良街道のまちなみ景観保全

2 黄檗地域

(五ヶ庄・羽戸山・菟道・明星町・志津川)



(1) 地域の特徴

五ヶ庄・羽戸山・菟道・明星町エリア

○黄檗地域は、宇治市のほぼ中央部に位置しています。西側には京都大学、陸上自衛隊宇治駐屯地が、東側には萬福寺や三室戸寺があるなど、文化的、歴史的にも多様な施設が立地する地域です。

○羽戸山や明星町などは閑静な住環境が形成されている地域です。



志津川エリア

○志津川は市街化調整区域の集落地であり、自然豊かな風情ある落ち着いたたたずまいを持っている地域です。



(2) 地域の現状

<p>土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 京都大学や陸上自衛隊宇治駐屯地を除くと、住宅地が中心であり地域の約 7 割を占めています。 ○ 市街地は、JR 黄檗駅・京阪黄檗駅および京阪三室戸駅を中心に、主要地方道京都宇治線に沿って、日常の買物など小規模な商業・業務地が形成されています。
<p>交通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ JR 奈良線の高速化・複線化事業により、利便性・安全性の向上に取り組んでいます。 ○ 主要地方道京都宇治線の JR 黄檗駅・京阪黄檗駅付近は、道路改良が行われ交通の円滑化および歩行者等の安全性が向上しました。 ○ 地区内の道路では、朝夕の通勤・通学ラッシュが激しいところでも道幅は狭く歩道が整備されていないなど、安全性に問題がある所も見られます。また、地域内の生活道路への車の流入も多く見られます。 ○ 身体障害者や高齢者等だれもが安全に移動できるよう、JR 木幡駅・京阪木幡駅、京阪黄檗駅のバリアフリー化が実施されています。
<p>公園・緑地、環境・景観</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宇治の歴史・文化や宇治茶に関する魅力の情報発信を行う施設として、お茶と宇治のまち歴史公園が完成しました。 ○ 萬福寺周辺地区を景観計画重点地区に位置づけ、歴史的遺産と豊かな自然環境が調和した景観形成を進めています。 ○ 旧奈良街道などに見られる趣のある風景や、歴史的な寺院が見られるなど、歴史的遺産が多い地域であることから、訪れる人々も多く見られます。 ○ 宇治川など市街地に隣接した身近な自然をはじめ、志津川や高峰山など、豊かな自然的景観が広がっています。 ○ 志津川周辺の山では、人工林は手入れされずに放置され、自然林は松枯れやナラ枯れによる倒木が見られます。
<p>都市防災</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近年の頻発化、激甚化する水害等により、浸水や土砂災害など災害リスクが高い地域があります。 ○ 地域防災拠点である黄檗公園の体育館の耐震化、野球場を災害発生時の応援部隊の駐留地として整備するなど防災機能の強化の取組を進めています。

(3) これからの地域づくりの主な課題

<ul style="list-style-type: none"> ■ JR 黄檗駅のバリアフリー化は奈良方面のみであり駅構内バリアフリー化の取組が必要です。 ■ 地域内には洪水浸水想定区域などが存在することから、ハザードマップなどによる災害リスクの共有と、既成市街地における防災能力の向上が必要です。 ■ 志津川地区のみどり豊かな美しい自然を活かし、生涯助け合って生きていけるまちづくりや、明星町地区の住環境を良好に保ち健康で安心できる、安全で住んでよかったと思えるまちづくりなど、将来のまちの姿を共有できるパートナーシップによるまちづくりの継続が必要です。
--

（４）これからの地域づくりのテーマ

現状と課題、地域意見を踏まえ地域づくりのテーマを次のように設定します。

五ヶ庄・羽戸山・菟道・明星町エリア

安全で住みよいまちを支える都市基盤の充実

みどりと歴史・文化に囲まれた安らぎある住宅地の形成

うるおいのある自然的環境と世界に誇る文化・歴史的遺産を保全・活用

地域内の文教施設などを活用したまちづくり

志津川エリア

志津川のまちなみの保全

居住環境を守り引継ぐ

（５）地域づくりの基本方針

地域づくりのテーマを実現していくための基本方針を、各部門において次のように設定します。

① 土地利用の方針

1) 住宅地

● 自然や歴史的遺産に囲まれた落ち着いたきのある低層住宅地の形成

五雲峰に連なる山並みなどの豊かな自然的環境や歴史的遺産に囲まれた落ち着いたきのある、また、災害に強い低層住宅地の形成をめざします。このうち、羽戸山や明星町の背後には、緑地が多く見られる台地部があり、みどりに囲まれた住宅地の環境を維持しつつ、災害に強く、眺望のよい安全で安心できる居住環境づくりをめざします。

また、高齢化の進行等による身近な買物・サービス施設の必要性など市民ニーズの変化に対し、土地利用の方針を踏まえ、立地の妥当性、周辺環境への影響を考慮した総合的な住宅地の形成を検討します。

● 文教施設等との連携による落ち着いたきのあるより良い教育・居住環境の創出

萬福寺周辺をはじめ歴史的遺産が残された住宅地では、景観計画などにより現在の趣ある景観の保全に努めるとともに、近接する各種教育施設等との連携を図ることによって、落ち着いたきのあるより良い教育・居住環境づくりをめざします。

2) 商業・業務地

● 地域の生活拠点としての機能の充実

商業・業務施設が立地する黄檗駅周辺および三室戸駅周辺では、交通結節性を活かした地域の生活拠点としての機能の充実により、商業の活性化などに向けた検討を行います。

● 地域住民・周辺住民の日常生活を支えていくための商業地の形成

主要地方道京都宇治線沿道の商業地は、既存の商業集積を活かしながら、地域住民はもとより周辺住民の日常生活を支えていくための商業地の形成を誘導します。

3) 農地

● 農地の維持・保全

宇治川右岸の市街化調整区域、農業振興地域の農地や、茶畑を中心とした市街地の生産緑地は、保全・活用を図るとともに、引き続き特定生産緑地の指定に努めます。

4) 山間集落地

● 落ち着いたたたずまいを持つ農業集落地の維持・保全

志津川に点在する農業集落や既存の住宅地は、風情ある蔵の風景や生垣などのみどりが多く、落ち着いたたたずまいを持っていることから、住環境の維持や秩序ある発展など地域振興に向けたまちづくりは、市街化調整区域の性格を変えない範囲で、地区計画その他の手法の活用について、地元とともに検討を進めます。

5) 森林地・緑地等

● 市街地周辺に広がる森林地・緑地の保全

天ヶ瀬森林公園や市街地の背後に広がる森林や宇治川河川敷等のみどりの保全に努めます。

② 交通の方針

1) 公共交通

● 鉄道などの公共交通の充実

JR 奈良線複線化の第二期事業の完成により定時性の確保や安全性の向上が図られることから、その事業効果を踏まえつつ、JR や京阪のさらなる利用促進や利便性向上について、引き続き研究します。

また、JR 黄檗駅および駅周辺のバリアフリー化に取り組み、交通結節点機能の向上に努めます。

2) 道路

i 幹線道路

● 主要地方道京都宇治線の整備・改良促進

主要地方道京都宇治線については、沿道に形成されている商業地・住宅地の居住環境への配慮を図りながら、整備・改良に向け関係機関と協力して進めます。

ii その他道路

● 地域生活を支える幹線道路網の整備

市道宇治五ヶ庄線をはじめ地域内の日常生活に密着している主要な道路については、歩行区間の確保や踏切の改善、交差点改良など、歩行者の安全性を考慮した整備・改良を検討します。

③ 自然的環境の保全および景観形成等の方針

1) 自然的環境

● 農地や山地の保全と生活環境の維持・保全

市街化調整区域内の自然的土地利用の保全を基本としながら、道路沿いの不法投棄の解消に努力するとともに、地域の美化活動、緑化活動など、市民と協働で良好な生活環境の維持・保全に努めます。

2) 公園・緑地

● 宇治の豊かな自然の象徴である宇治川の清流や周辺のみどりの保全

宇治川を中心とした貴重な自然的環境が残されている地域は「豊かな自然の象徴を守るエリア」と位置づけます。また、天ヶ瀬ダム放流の間近で体感することが出来る広場の整備や、宇治川の堤防を利用した緑道などとあわせて、市民の散策やレクリエーションの場とするとともに、周辺観光につながるよう自然的環境を損なわない範囲での利用を進めていきます。

● 多様な公園・緑地機能の充実

黄檗公園、天ヶ瀬森林公園などは、みどりと交流の拠点として整備を進めるとともに、既存公園の維持に努め、住宅地の生垣緑化など、地域の緑化を推進します。また、市街地のみどりでもある生産緑地などの保全に努めます。

● 志津川周辺の貴重な自然的環境の保全・育成

志津川では周辺の貴重な自然的環境の保全・育成に努めます。

3) 文化・歴史的遺産

● 地域内の史跡・歴史的建造物・神社仏閣の保全

萬福寺、三室戸寺などの歴史的遺産の保全や境内周辺の樹木の保全を図るとともに、観光の推進に努めます。

また、国史跡である宇治川太閤堤跡を有するお茶と宇治のまち歴史公園は、宇治の歴史・文化や宇治茶の魅力の情報発信を行う施設として、「お茶の京都」エリアへのゲートウェイの役割をめざします。

4) 景観

● 住宅地周辺での秩序ある市街地景観の形成

住宅地周辺は低層住宅との調和を考慮した秩序ある市街地景観の形成を図ります。

● 山並みスカイラインの景観保全

山並みスカイラインは宇治らしさを象徴する自然的景観として、その保全に努めます。

● 旧奈良街道のまちなみ景観保全

旧奈良街道沿いの歴史的遺産は周辺の景観なども含めてその保全に努めるとともに、それら歴史的遺産と各駅周辺、主要施設および自然的環境の中を安全に歩ける歩行者空間の形成をめざします。

特に、黄檗山萬福寺と旧街道沿いの歴史的まちなみおよびその周辺地域については、景観計画によりそれらが一体感のある景観の形成を進めます。

④ 都市防災の方針

● 防災拠点の整備

黄檗公園を東宇治地域の現地対策本部、応援部隊の集結など救援活動の拠点として位置づけ、避難場所となるオープンスペースを確保する他、備蓄倉庫・防災トイレ等の整備により都市防災機能を有した公園整備を推進します。また、周辺の公共施設等と連携し、災害時の対応強化を図ります。

● 浸水に対する防災機能強化

地域内には大小様々な河川・水路があり、その周辺は市街化が進んでいます。近年の気候変動の影響への対策が必要で、特に、弥陀次郎川や戦川、新田川などの流域では雨水流出抑制策も含め総合的な治水対策の推進に努めます。

● 災害リスクの情報共有

地域内は、水災害リスクの高い地域があります。ハザードマップなどを用いて、市民と浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有に努めます。

⑤ まちづくり活動の方針

● パートナーシップによるまちづくり活動の推進

住民によるまちづくり活動として、志津川地区ではみどり豊かな美しい自然を活かし、生涯助け合って生きていけるまちづくりをめざしています。また、明星町地区では住環境を良好に保ち健康で安心できる、安全で住んでよかったと思えるまちづくりの実現に向けて取り組んでいます。宇治市では、こうした地域の将来のまちの姿を共有し、住民によるまちづくり活動を支援します。

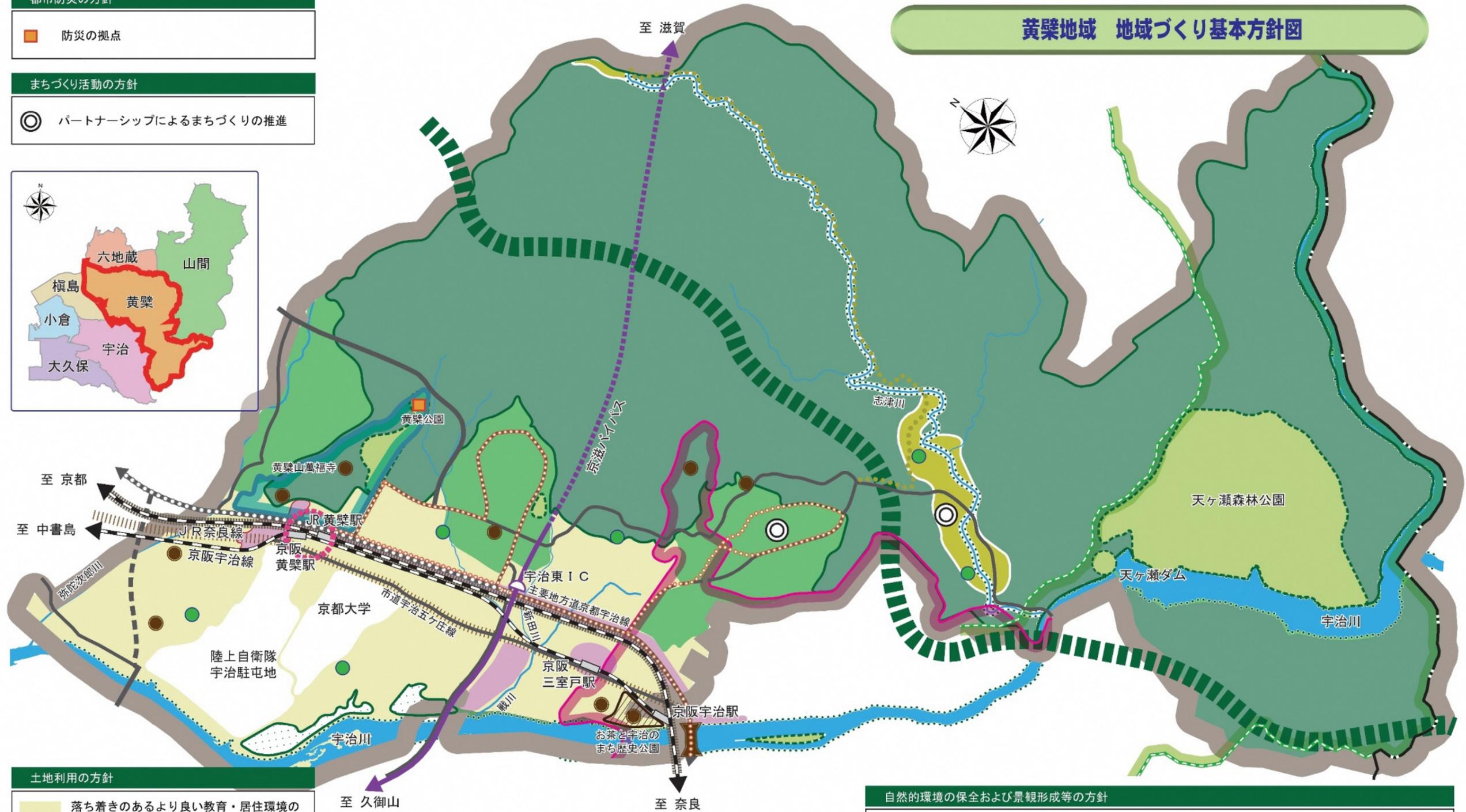
黄檗地域 地域づくり基本方針図

都市防災の方針

■ 防災の拠点

まちづくり活動の方針

◎ パートナーシップによるまちづくりの推進



土地利用の方針

- 落ち着いたあるより良い教育・居住環境の創出
- 自然や文化・歴史的遺産に囲まれた落ち着いたある低層住宅地の形成
- 地域の「生活拠点」としての機能の充実や魅力の向上
- 地域住民・周辺住民の日常生活を支えていくための商業地
- 山間集落地の居住環境の維持・保全エリア
- 農地・生産緑地の維持・保全
- 市街地周辺に広がる森林地・緑地の保全

交通の方針

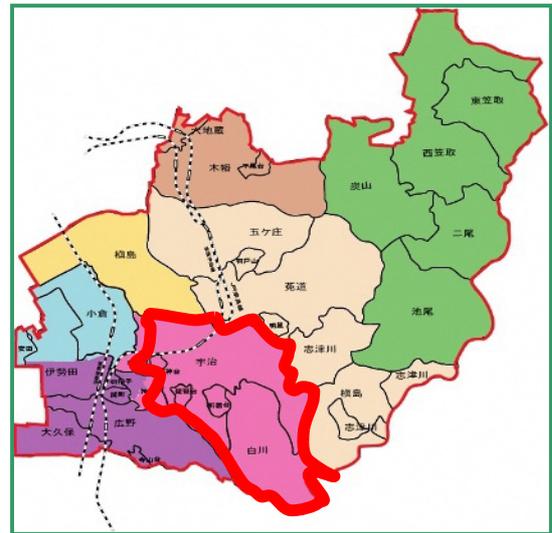
- 鉄道などの公共交通の充実
- 交通結節機能の充実 (複線化)
- バスなど公共交通の利用促進
- 地域生活を支える道路網の整備
- 幹線道路の整備
- 主な道路
- 計画路線

自然的環境の保全および景観形成等の方針

- 農地や山地の保全と生活環境の維持・保全
- 宇治の豊かな自然の象徴である宇治川の清流や周辺のみどりの保全
- 豊かな自然の象徴を守るエリア
- 多様な公園の整備と緑化の推進
- 志津川周辺の貴重な自然環境の保全・育成と憩いの空間としての活用
- 史跡・歴史的建造物の保全
- 史跡とお茶の文化を知り、体感できる観光交流拠点の整備の推進
- 宇治らしい趣のある歴史的風致の維持向上に重点的に取り組むエリア
- 萬福寺周辺の歴史的なまちなみと一体感のある景観の形成を図るエリア
- 旧奈良街道のまちなみ景観保全
- 山並みスカイラインの景観保全

3 宇治地域

(宇治・折居台・琵琶台・天神台
南陵町・神明・白川)



(1) 地域の特徴

○宇治市の中央から南部に位置し、JR宇治駅をはじめ宇治市役所や歴史的建造物、宇治橋通り商店街、工場地域など、行政、文化・歴史、商工業の中心的役割を担う地域です。

宇治橋周辺エリア

○世界遺産である平等院や宇治上神社をはじめ、縣神社、宇治神社、放生院(橋寺)、恵心院および興聖寺などの歴史的遺産や宇治川など観光資源が集積している地域です。

○JR宇治駅前や宇治橋通り、平等院表参道を中心に日用品や観光みやげ等の商業施設が形成されており、利便性が高い地域です。

○宇治川周辺には水やみどりによって形成されたうるおい空間があり、優れた自然景観が楽しめる場を持っている地域です。



白川エリア

○白壁のまちなみがあるとともに、白川金色院跡による棚田状の田畑や茶畑と周辺集落、それを取り囲む里山が一体となった景観が形成された市街化調整区域の地域です。



宇治・折居台・琵琶台・天神台・南陵町・神明エリア

○身近なみどりに包まれた閑静な低層住宅地が形成されており、特に、折居台には中央図書館、文化センター、東山公園などの公共施設が充実しており、利便性にも優れた地域です。



（２）地域の現状

<p style="text-align: center;">土地 利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住宅地では身近なみどりに包まれた閑静な住宅地が展開しており、特に、折居台には中央図書館、文化センター、東山公園などの公共施設が充実しており、利便性にも優れた場所となっています。 ○ 白川が有する豊かな自然的環境の保全に取り組んでいますが、不法投棄や休耕などの問題をはらんでいます。また、農家の後継者問題も含め市民団体と連携したまちづくりを行う必要があります。 ○ 宇治川周辺や白川周辺では、重要文化的景観や景観計画など歴史的風致の維持向上に向け重点的に取り組んでいます。 ○ 工業地域の大半は一企業の工場で占められており、準工業地域には工場・住宅の混在が見られます。
<p style="text-align: center;">交 通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新たな幹線である新名神高速道路の開通など、広域的な道路網は充実していく地域です。 ○ JR 奈良線の高速化・複線化事業により利便性・安全性の向上に向け、取り組んでいます。 ○ 身体障害者や高齢者などすべての方が安全に移動できるよう、平成 19 年に宇治駅周辺地域バリアフリー基本構想を策定し取組を進めています。 ○ 主要地方道宇治淀線の朝夕の渋滞に伴う縣通り、宇治橋通りおよび朝霧通りの通過車両対策などが求められています。
<p style="text-align: center;">公園・ 環境、 景観、 緑地</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宇治川は悠々たる川の流れとともに、その両側には豊かなみどりを有しており、散策に適した道路や施設が整備されています。 ○ 宇治橋通り商店街へ人を呼び込むために、空き店舗利用による商店街の再生や駐車場の整備を図るとともに、良好な景観の形成を図っています。 ○ 世界遺産をはじめ縣神社、宇治神社、放生院（橋寺）、恵心院、興聖寺など、宇治川を中心に様々な時代の日本の表舞台であったことを垣間見る歴史的遺産が保存されています。 ○ 白川では白壁のまちなみがあるとともに、丘陵地のゆるやかな斜面を利用した大規模な段丘上の茶畑や寺川の清流など、多様な景観が見られます。
<p style="text-align: center;">防都 災市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近年の頻発化、激甚化する水害等により、宇治川に接するエリアや山間部の白川エリアでは浸水や土砂災害などが特に懸念されます。

（３）これからの地域づくりの主な課題

<p style="text-align: center;">■</p>	<p>JR 宇治駅・京阪宇治駅周辺のエリアでは観光客も地域住民も楽しめるまちの魅力の向上の検討が必要です。</p> <p>宇治橋（主要地方道京都宇治線）を起点とした周辺地域の渋滞が発生しており、広域的な道路網のあり方や観光車両の分散など引き続き検討が必要です。</p> <p>地域内には洪水浸水想定区域などが存在することから、ハザードマップなどによる災害リスクの共有と、既成市街地における防災能力の向上が必要です。</p> <p>白川地区の良好な景観づくりや、歴史文化の継承および茶業の振興などに向けまちづくりや、南陵町の安心、安全、良好な住環境を守る活動、平等院表参道の地域の歴史的・文化的な背景を活かした良好な景観づくりなど将来のまちの姿の共有が必要です。</p>
---	--

（４）これからの地域づくりのテーマ

現状と課題、地域意見を踏まえ地域づくりのテーマを次のように設定します。

宇治橋周辺エリア

だれもが安心して歩いて楽しめるまちづくり

宇治川周辺の文化・歴史・自然が調和したまちづくり

宇治川周辺が快適空間となる整備

白川エリア

白川のまちなみの保全および景観、文化・歴史の継承と住環境の維持

宇治・折居台・琵琶台・天神台・南陵町・神明エリア

みどり豊かで快適な住環境

（５）地域づくりの基本方針

地域づくりのテーマを実現していくための基本方針を、各部門において次のように設定します。

① 土地利用の方針

1) 住宅地

● 自然や歴史的景観に配慮した良好な住宅地の維持・保全

世界遺産や宇治川周辺の自然的環境などを活かしつつ、防災機能の強化、身近な公園・並木の充実などを図り、良好な住環境の維持・保全をめざします。また、工業地周辺で工場と住宅の混在が見られる JR 奈良線以北周辺では、生活道路など生活基盤の充実を図るとともに、地区計画などの活用により計画的な調和のとれた土地利用を誘導します。

● 落ち着きとおいのある低層住宅地の維持・保全

折居台・琵琶台では起伏に富んだ地形の中で山城総合運動公園などの豊かな自然的環境に囲まれており、眺望性のよい落ち着きのある低層住宅地の形成をめざします。また、天神台・南陵町・神明周辺は現在の良い居住環境を保全しつつ、より良い居住環境を創出していくことをめざします。また、高齢化の進行等による身近な買物・サービス施設の必要性など市民ニーズの変化に対し、土地利用の方針を踏まえ、立地の妥当性、周辺環境への影響を考慮した総合的な住宅地の形成を検討します。

● **利便性に富みまとまりのある官庁街の確立**

琵琶台周辺に集中する市役所を中心とした官庁街では、行政サービスの円滑化だけにとどまらず、地域の人々が憩える場や知識・情報提供の場など生活利便施設の充実をめざします。

2) **商業地**

● **宇治市の中央玄関口として独自性を持つ商業環境と豊富な歴史的遺産を活かしたまちづくりを誘導**

JR 宇治駅周辺の商業地では、宇治市の中央玄関口として宇治の魅力を提供できる独自性を持つ商業環境と豊富な歴史的遺産を活かしたまちづくりを誘導します。

3) **工業地**

● **周辺環境と調和した工業地の誘導**

JR 奈良線以北周辺の工業地は周辺の環境と調和し、また、地域の利便性を考慮した土地利用を誘導します。

● **活力ある都市を目指すための新たな産業立地の検討**

多様な働く場の創出のため、産業立地検討エリアとして市道宇治白川線沿道への新たな産業立地の検討を始めます。本地域は、原則市街化を抑制する区域であることを踏まえ、農林漁業等との調整・連携を図りつつ、周辺環境および景観に配慮して検討します。

また、本地域は、新たに整備される新名神高速道路までのアクセスが良好であるが接続道路との一体的な整備が必要となるため、周辺の土地利用との調整を図りながら、計画的かつ適切な時期に検討します。

4) **農地**

● **農地・生産緑地の保全と茶業の振興**

白川地域の茶畑や市街地内にある生産緑地は、保全・活用を図るため、引き続き特定生産緑地の指定に努めます。

また、茶協同組合や府立茶業研究所などとの連携を図りつつ、茶業の振興と宇治ブランドの保全に努めます。

5) **山間集落地**

● **伝統的な集落環境と景観の保全・整備**

白川周辺の山間集落地では農業の保全を前提としながら、ゆとりある田園居住空間の創出をめざします。また、金色院跡などの歴史的遺産を活かし、生垣などの身近なみどりが十分に配された伝統的な集落環境と景観の保全・整備に努めます。

また、地域の発展のため、市街化調整区域の性格を変えない範囲で住環境の維持や秩序ある土地利用を住民と協働で検討します。

6) 森林地・緑地等

● 市街地東部に広がる森林地・緑地の保全

国定公園にも指定されている市街地の東部に広がる森林地や宇治川河川敷などのみどりはその保全に努めるとともに、東海自然歩道を基本とした周辺のネットワーク化を図ることにより、本市を代表する貴重な自然的環境に触れることのできる歩行者空間づくりに努めます。

② 交通の方針

1) 公共交通

● 利便性の高い交通施設の充実と交通結節機能の強化

JR 奈良線の複線化による定時制確保や安全性の向上を進めるとともに、文化・歴史・自然が調和したまちづくりと一体となった交通結節点機能の強化を進め、既存公共交通の利用促進に努めます。

2) 道路

i 幹線道路

● 市街地にアクセスする幹線道路網の整備

本地域には宇治橋を中心に自動車交通が集中する傾向が強く、特に朝夕の渋滞がみられる主要地方道宇治淀線や市道宇治白川線および宇治榎島線などの幹線道路とあわせた幹線道路網の整備が必要です。

また、新名神高速道路開通後の交通状況を見極め、交通の円滑化をはじめ交通容量の拡大や通過交通の市街地流入の抑制などによる交通分散・円滑化の検討を進めていきます。

ii その他道路

● 地域内活動を支える道路網の整備

宇治橋通り商店街がある市道宇治橋線など、その役割を明確にしつつ、幹線道路の整備による通過交通の地域流入を抑制するなど周辺居住環境の向上を図ります。また、商店街などとの連携により地域内を楽しく安全に歩くことのできる歩行者ネットワークを形成するとともに、地域全体としての魅力ある歩行者空間づくりをめざします。

③ 自然的環境の保全および景観形成等の方針

1) 自然的環境

● 良好な自然的環境の保全・活用

市街地に隣接した宇治川の東部および南部の森林地・緑地は琵琶湖国定公園^{*}や風致地区、史跡・名勝などの指定を受けており、引き続き自然的土地利用の保全・活用に努めます。

2) 公園・緑地

● 宇治の豊かな自然の象徴である宇治川の清流や周辺のみどりの保全

宇治川の清流と眺望が楽しめる沿道のみどりを保全し、快適なみどりの空間を保全します。

● 多様な公園の利活用と機能の充実

山城総合運動公園、東山公園、宇治公園および大吉山風致公園はみどりと交流の拠点として、引き続きその利活用と機能充実に努めるとともに、市民の散策やレクリエーションの場として利用を促進します。

3) 文化・歴史的遺産

● 地域内の歴史的建造物・神社仏閣の保全

世界遺産である平等院および宇治上神社をはじめ縣神社、宇治神社、放生院（橋寺）、恵心院および興聖寺など、歴史的遺産はその社寺林を含め保全に努めます。

4) 景観

● 市民のシンボル景観の保全と継承

宇治川の宇治橋上流域や世界遺産の平等院および宇治上神社周辺を包括する多様な景観が重なり合う一帯を、宇治市民のシンボル景観として保全・継承するために、その周辺については、高さや形態、色彩などに配慮した建築行為が行われるよう努めます。一方、宇治川周辺や白川周辺では山並みスカイラインの保全に努めるとともに、茶畑などのみどり景観の保全にも努めます。

特に、重要文化的景観に選定された地区や白川などその周辺地域については宇治らしい趣のある風情を守り、育てるため、歴史的風致の維持向上に重点的に取り組むエリアとし、各種施策に取り組みます。

● 旧奈良街道のまちなみ景観保全

旧奈良街道沿いのまちなみの景観なども含めてその保全に努めるとともに、それらと地域内の各駅周辺や主要施設、自然的環境などを安全に歩ける歩行者空間づくりをめざします。

④ 都市防災の方針

● 防災拠点の対応強化

応援部隊の集結や物資の集配を行うための京都府の広域防災活動拠点である山城総合運動公園と、災害時に対策本部となる宇治市役所や他の地域の防災拠点、避難所等が連携するなど災害時の対応強化を図ります。

● 浸水に対する防災機能強化

地域内には近年の気候変動の影響により道路冠水が発生している地区があり、これらの浸水対策に取り組みます。また、下流域の浸水被害の対策として市民や開発業者等においても雨水流出抑制策に取り組むなど総合的な治水対策の推進に努めます。

● 宇治らしい趣のあるまちなみへの配慮と災害に強い市街地づくり

重要文化的景観に選定された地区やその周辺については、宇治らしい趣のあるまちなみに配慮した建物の耐震化・不燃化などのための総合的な対策を検討し、災害に強い市街地づくりに取り組みます。

● 災害リスクの情報共有

地域内には、水災害リスクの高い地域があります。ハザードマップなどを用いて、市民と浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有に努めます。

⑤ まちづくり活動の方針

● 観光客も地元住民も楽しめる宇治市の中央玄関口の形成

文化・歴史的遺産や豊かな自然など宇治の観光資源とリンクした宇治橋通り商店街の活性化を図るとともに、「宇治市の中央玄関口」として独自性を持つ商業環境づくりに努めます。

そのため、歩行者が楽しめるような魅力ある快適な歩行者空間づくりをめざすとともに、既存施設を活用するなど、誇れる歴史的環境を活かして誰もが楽しめる参加型観光の機能充実をソフト・ハード両面から地元商店街と協働して取り組みます。

また、JR宇治駅・京阪宇治駅周辺の商店街等やお茶と宇治のまち歴史公園、産業支援拠点等を含む一帯を「モデルエリア」に位置づけ、子育て世代の支援と地域の活性化につながる一体的な取組を進めます。

● パートナーシップによるまちづくり活動の推進

地域住民によるまちづくり活動として、白川地区では良好な景観づくりや、歴史文化の継承および茶業の振興などに向けまちづくりを進めています。また、南陵町地区では、よい町を育てていくことを目的とし安心、安全、良好な住環境を守る活動を進めています。同様に、平等院表参道では、地域の歴史的・文化的な背景を活かした良好な景観づくりを進めています。宇治市では、こうした地域の将来のまちの姿を共有し、住民によるまちづくり活動を支援します。

宇治地域 地域づくり基本方針図

土地利用の方針

- 自然や歴史的景観に配慮した良好な住宅地の維持・保全
- 落ち着きとうるおいのある低層住宅地の維持・保全
- 利便性に富みまとまりのある官庁街の確立
- 観光客も地元住民も楽しめる「宇治市の中央玄関口」として独自性をもつ商業環境と他に誇れる歴史的環境を活かした中心商業地の形成
- 周辺環境と調和した工業地の形成
- 山間集落地の居住環境の維持・保全エリア
- 農地・生産緑地の保全と生産基盤の充実による茶業の振興
- 市街地東部に広がる森林地・緑地の保全
- 活力ある都市を目指すための新たな産業立地の検討

自然的環境の保全および景観形成等の方針

- 良好な自然的環境の保全・活用
- 宇治の豊かな自然の象徴である宇治川の清流や周辺のみどりの保全
- 豊かな自然の象徴を守るエリア
- 多様な公園の利活用と機能の充実
- 地域内の歴史的建造物・神社仏閣の保全 伝統的な集落環境と景観の保全・整備
- 市民のシンボル景観の保全と継承
- 宇治らしい趣のある歴史的風致の維持 向上に重点的に取り組むエリア
- 旧奈良街道のまちなみ景観保全
- 史跡とお茶の文化を知り、体感できる 観光交流拠点の整備の推進
- 山並みスカイラインの景観保全

交通の方針

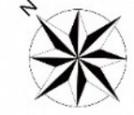
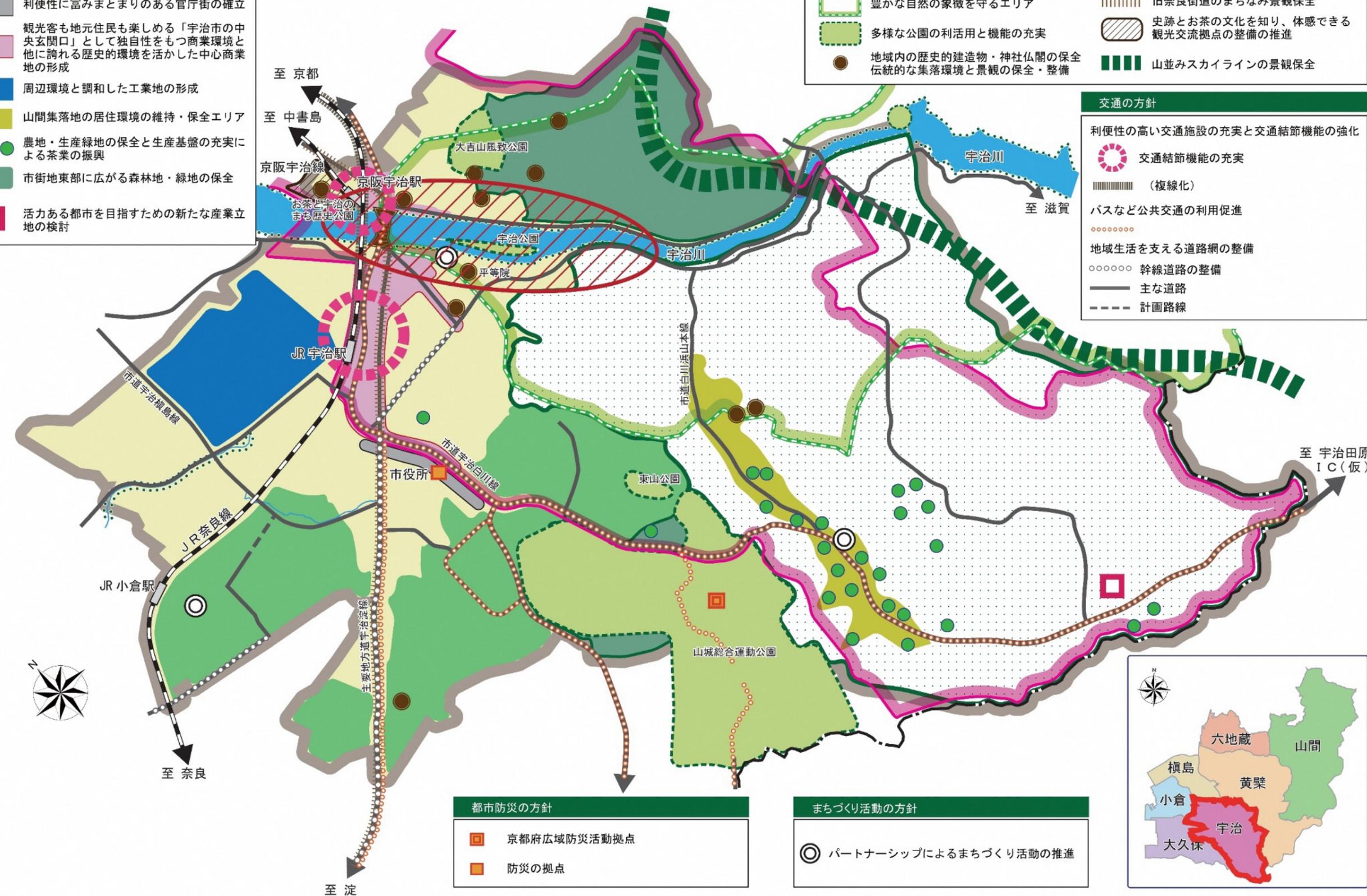
- 利便性の高い交通施設の充実と交通結節機能の強化
- 交通結節機能の充実 (複線化)
 - バスなど公共交通の利用促進
 - 地域生活を支える道路網の整備
 - 幹線道路の整備
 - 主な道路
 - 計画路線

都市防災の方針

- 京都府広域防災活動拠点
- 防災の拠点

まちづくり活動の方針

- パートナーシップによるまちづくり活動の推進



（２）地域の現状

土地 利用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市街地のうち住宅地は約 5 割、工業地が約 3 割となっています。 ○ 工業地域は、土地利用が成熟しており、事業の拡張のための一団の新たな事業用地が少ない状況となっています。
交 通	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宇治市の北西に位置しており、地域の中央を京滋バイパスが東西に横断し、宇治西インターチェンジがあるほか、国道 24 号、主要地方道城陽宇治線が縦断しておりアクセス性は良い地域です。 ○ 榎島地域には鉄道駅がなく、また、バスの便も少ない状況です。 ○ 幹線道路の渋滞や生活道路の狭さ、大型車の通行について安全対策が求められています。 ○ 大幡付近では緊急車両の通行が難しい狭い道路があるなど歩きにくさが目立ちます。
環境、 景観、 緑地、 公園	<ul style="list-style-type: none"> ○ 室町幕府の終焉の地ともいわれる歴史があります。また、豊臣秀吉によって榎島堤が設けられ、街道の形が大きく変わったことでも有名な場所です。 ○ 妙光寺、誓澄寺、耕石寺、蛭子嶋神社などの神社仏閣が存在するほか、旧大和街道沿いや藪場に残る蔵や門構えなど、古いまちなみが見られます。 ○ 巨椋池干拓田をはじめ豊かな水とみどりが残されています。
都市 防災	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療・福祉施設等整備促進エリアには、地域災害拠点病院である宇治徳洲会病院が開業しました。 ○ 近年の頻発化、激甚化する水害等による浸水や、干拓田であり地震による災害被害も比較的大きく発生する恐れがあります。

（３）これからの地域づくりの主な課題

<ul style="list-style-type: none"> ■ 幹線道路沿道から工場が撤退し、商業系への土地利用転換や多くの地域で住居の混在が進むなど変化が見られ、事業拡大のための用地が不足しており、操業環境の保全が必要です。 ■ 道路網は京都市との行政界で慢性的に渋滞しており、安全性、経済的損失、環境のためにも東西軸の強化による分散など、適正な道路網構築が必要です。 ■ 医療・福祉施設等整備促進エリアについて、ニーズの高い回復期の病院機能の強化等、医療・福祉の連携したさらなる機能充実を進める必要があります。 ■ ほぼ全域が洪水浸水想定区域であることから流域治水と合わせ、ハザードマップなどにより地震災害も含めた災害リスクの共有と、既成市街地における防災能力の向上が必要です。
--

（４）これからの地域づくりのテーマ

現状と課題、地域意見を踏まえ地域づくりのテーマを次のように設定します。

医療・福祉施設等整備促進エリアの充実

魅力あるものづくり産業の集積

農業を保全し、地域と密着した農業の振興

魅力ある工業地の形成を支える都市基盤の充実

恵まれた自然的環境と文化・歴史的遺産の保全と活用

（５）地域づくりの基本方針

地域づくりのテーマを実現していくための基本方針を、各部門において次のように設定します。

① 土地利用の方針

1) 住宅地

● 快適な生活環境を有する住宅地の形成

良好な自然的環境、歴史的遺産および地域のつながりを大切にしながら、防災面の強化・住環境の向上など、地域の魅力を活かした快適な生活環境を有する住宅地の形成をめざします。

2) 商業・業務地

● 地域住民・周辺住民の日常生活を支える商業地の形成

住環境への影響の少ない幹線沿道の大型商業施設などを活かしながら、地域住民はもとより周辺住民の日常生活を支えていくための商業地の形成を誘導します。

3) 工業地

● 一層魅力ある「ものづくり産業拠点」として大規模工場・関連中小工場の集積促進

大規模工場やその関連工場が集積している地区や京滋バイパス宇治西インターチェンジに近接している地区を中心に、本市の特徴であるニッチトップ型の中小企業の集積により一層魅力あるものづくり産業拠点として誘導します。

● 幹線道路などの充実による新たな産業の誘致・振興

産業の集積や宇治西インターチェンジへの近接性など地域が持つ特性を活かすため、さらに幹線道路の円滑性、安全性を向上させることで、新たな産業の誘致・振興をめざします。

●住宅と共存する工業地の形成

住宅と工場等が近接している地域については、土地利用方針を共有することで周辺環境との調和を図りつつ、既存工場の操業環境を確保し、住宅と共存する工業地をめざします。

●活力ある都市を目指すための新たな産業立地の検討

多様な働く場の創出のため、産業立地検討エリアとして新たな産業立地の検討を始めます。本地域は、原則市街化を抑制する区域であることを踏まえ、農林漁業等との調整・連携を図りつつ、周辺環境および景観に配慮して検討します。

また、本地域は、京滋バイパスに近くアクセスが良好であることから、ものづくり産業が集積しており地域企業の拡張に最適な位置関係であるため、企業ニーズを把握した上で実現性を踏まえ検討に着手します。

4) 農地

●恵まれた自然・農業環境の維持・保全

自然・農業環境に恵まれた市街化調整区域および農業振興地域は、引き続き地域に密着した農業の振興とバランスのとれた土地利用に努めます。

② 交通の方針

1) 公共交通

●公共交通の充実

移動手段の確保に向けて、新たな移動ニーズへの対応について、既存公共交通を基盤とした、持続可能な手法について検討します。

また、地域住民の主体的な取組に対して、既存公共交通との整合を図りながら、その運営に関する支援策を検討します。

2) 道路

i 幹線道路

●市民生活とものづくり産業拠点を支える幹線道路の整備

行政界に位置する地域であり、またものづくり産業の集積地であることから広域的なまちづくりの視点による道路網の構築により、市民生活と産業活動の活性化を図る必要があります。

また、国道 24 号および主要地方道城陽宇治線においては朝夕の渋滞緩和のため、交通の円滑化や歩行者や自転車の安全に配慮した道路改良をめざし、関係機関と連携し取り組みます。

ii その他道路

●地域の一体性確保や住宅地・工業地の多様な活動を支える安全な道路の整備

榎島地域の一体性確保、住宅地や工業地の多様な活動を支える道路として歩行空間の確保や速度抑制など安全対策の推進に努めます。

③ 自然的環境の保全および景観形成等の方針

1) 自然的環境

●自然的環境と調和した生活環境の形成

巨椋池干拓田など広大な農地を代表とした自然的環境と調和したゆとりある生活環境を形成し、新たな生活スタイルをめざします。

そのため、用水路の浄化や農地周辺の貴重な自然的環境の保全・育成、幹線道路沿いの不法投棄の解消に向けて、地域の美化活動、緑化活動など、良好な環境づくりに努めます。

2) 公園・緑地

●用水路の再生・活用

用水路は地域住民が憩い、散策、休息などが楽しめるような空間として、その再生・活用をめざします。

●宇治川の清流や周辺のみどりの保全

宇治川沿いの貴重な自然的環境が残されている地域については、その清流や周辺の豊かなみどりの保全に努めます。

3) 文化・歴史的遺産

●史跡・歴史的建造物・神社仏閣の保全

妙光寺、誓澄寺、耕石寺、蛭子嶋神社などの神社仏閣およびその境内や周辺の樹木の保全に努めます。

4) 景観

●落ち着いたある田園風景と歴史的景観の保全

農地などのみどりに囲まれた落ち着いたある景観を形成するため、住宅を含む建築物などの建築の際には敷地内の緑化推進など、落ち着いたある田園風景の保全に努めます。

旧大和街道沿いや藪場に残る蔵や門構えなど、古いまちなみや道路は、その歴史的景観を守り地域の特色として育てます。

④ 都市防災の方針

● 災害時の拠点施設の整備促進

地域における災害時の避難・救援活動を拠点的に担うための医療・福祉施設等整備促進エリアを設け、地震や水害時でも機能するように必要な措置を講じた救急・高度医療施設などの整備を促進するとともに、これら施設を一時避難地や福祉避難所としても活用します。また、ニーズの高い回復期の病院機能の強化等、医療・福祉の連携した機能充実を進めます。

● 浸水に対する防災機能強化

榎島地域はかつて巨椋池があったことから土地が低く平坦であり、浸水被害が課題となっています。特に、承水溝 3 号水路などの流域では災害の軽減に向け雨水流出抑制策も含めた総合的な治水対策を推進します。

● 災害リスクの情報共有

地域内には、水災害リスクの高い地域があります。ハザードマップなどを用いて、市民と浸水の危険性のある地域の情報の共有に努めます。

⑤ まちづくり活動の方針

● まちづくりを進めるための地域組織づくり

従来までの自治会組織に加え、地域内にある大学の学生との交流や、コミュニティセンターや福祉センターを活動拠点とした様々な取組を通じて多種多様な人々による地域組織づくりを推進します。

榎島地域 地域づくり基本方針図



土地利用の方針

- 快適な生活環境を有する住宅地の形成
- 住宅と共存する工業地の形成
- 地域住民・周辺住民の日常生活を支える商業地の形成
- 新たな産業の誘致・振興
ものづくり産業拠点として大規模工場、関連中小工場の集積促進
- 恵まれた自然・農業環境や住環境の維持・保全
- 活力ある都市を目指すための新たな産業立地の検討

交通の方針

利便性の高い交通施設の充実と交通機能の強化
バスなど公共交通の利用促進

地域生活を支える安全な道路網の整備

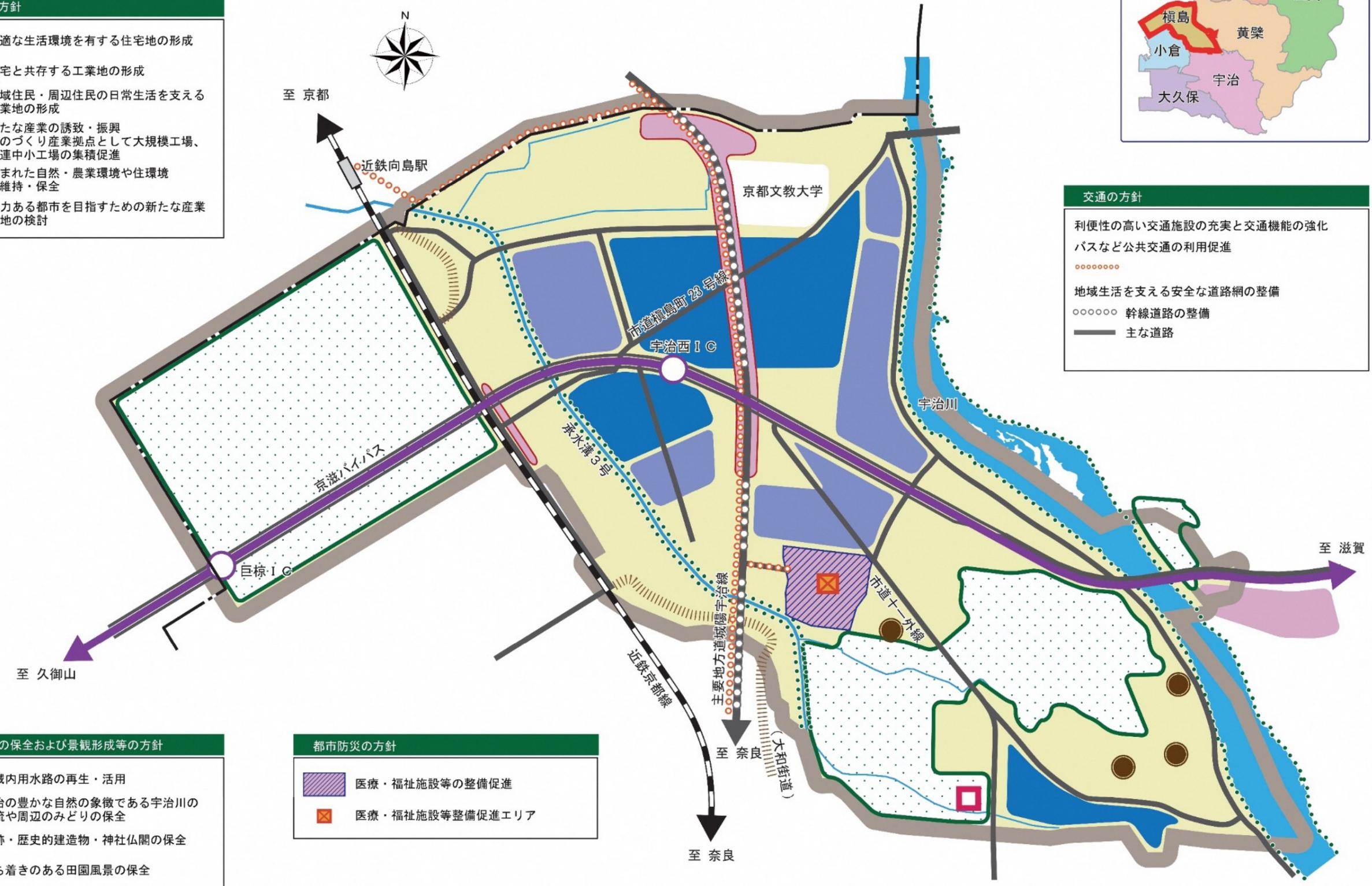
- 幹線道路の整備
- 主な道路

自然的環境の保全および景観形成等の方針

- 地域内用水路の再生・活用
- 宇治の豊かな自然の象徴である宇治川の清流や周辺のみどりの保全
- 史跡・歴史的建造物・神社仏閣の保全
- 落ち着いたある田園風景の保全
- 歴史的景観の保全

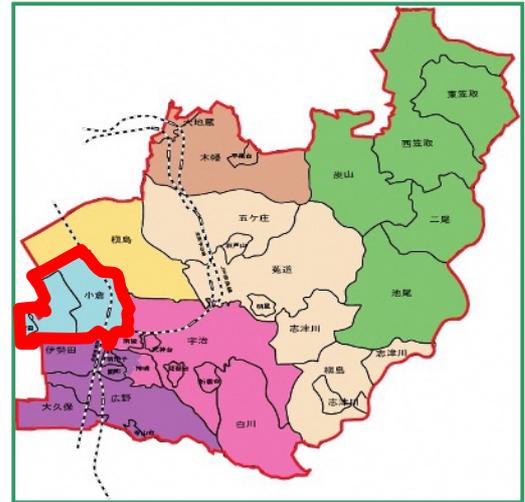
都市防災の方針

- 医療・福祉施設等の整備促進
- 医療・福祉施設等整備促進エリア



5 小倉地域

(小倉町・伊勢田町・安田町)



(1) 地域の特徴

- 小倉地域は宇治市の西に位置し、JR 奈良線や近鉄京都線が通り、京都市および城陽市へ通じる主要地方道城陽宇治線が南北に通っています。また、近鉄小倉駅周辺には商業・業務施設が集中しており非常に利便性が高い地域です。
- 近鉄小倉駅西側は、昭和 30 年代後半から京都市のベッドタウンとして形成された市街地で、密集した住宅地が広範囲に形成されている地域です。
- 近鉄小倉駅東側は、旧大和街道沿いに茶商が立地するなど歴史あるまちなみが残されており、また主要地方道城陽宇治線沿いは、規模の大きい商業施設が立地する地域です。
- 近鉄小倉駅周辺は、駅前広場設置、駅東西の移動の改善、住環境の改善など暮らしやすさを向上させるために、駅周辺の再整備を検討する地域です。



はじめに

宇治市の現状と課題

都市づくりの基本理念と
基本目標

部門別方針

地域別構想

参考資料

（２）地域の現状

<p>土地 利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主要地方道城陽宇治線より西側は主として住宅地が中心であり、地域の約 7 割を占めています。 ○ 小倉が市街地を形成したのは昭和 30 年代後半からの京都市のベッドタウン化によるもので、近鉄小倉駅は通勤・通学者を京都へ運ぶ駅としてその重要性を担っており、周辺には約 3 万人の市民が居住しています。 ○ 住環境については、商業・業務施設の混在による騒音の発生、河川等へのゴミの不法投棄などの問題があります。
<p>交 通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小倉地域は宇治市の西に位置し、JR 奈良線や近鉄京都線が通り、京都市および城陽市へ通じる主要地方道城陽宇治線が南北に通っています。 ○ 主要地方道八幡宇治線、主要地方道城陽宇治線では、朝夕の渋滞がみられ、歩行空間の確保が十分ではないところがあります。また、近鉄京都線の踏切により、渋滞が発生しています。 ○ 駅地下通路のバリアフリー化ができていないなど東西移動に課題があります。
<p>公園・ 環境・ 緑地、 景観</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市街地の中には生産緑地や井川沿いの桜並木、西宇治公園など、身近にみどりが感じられます。特に、巨椋池干拓田ではバードウォッチングも楽しむことができ、市民に憩いとうるおいを与えています。
<p>都市 防災</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 密集市街地等や老朽化した住宅が多い地域では災害時に緊急車両が通れない生活道路の状況など防災体制の低さが見受けられます。また、干拓田であることから地震による災害被害も比較的大きく発生する恐れがあります。 ○ 井川などの流域では雨水流出抑制策も含め総合的な治水対策を計画的に進めていますが、それを上回る水害等が発生した場合は、浸水が発生する恐れがあります。

（３）これからの地域づくりの主な課題

<ul style="list-style-type: none"> ■ 商業需要の低下および買い物ニーズの変化に伴い、駅周辺の商業の魅力のあり方について見直す必要があります。 ■ 近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構想では、まちが持つ様々な特徴を活かしたまちづくりを多くの方が望まれていることから、今あるまちの良さを活かした上で、新たな視点を加えた持続・発展するまちづくりをめざします。 ■ 定住人口につながる多様な働く場を創出するための対策が必要です。 ■ 駅およびまちの中心部の広範囲が浸水想定エリアであり、災害を踏まえたまちづくりのあり方について検討が必要です。 ■ ほぼ全域が洪水浸水想定区域であることから、ハザードマップなどによる災害リスクの共有と、既成市街地における防災能力の向上が必要です。

（４）これからの地域づくりのテーマ

現状と課題、地域意見を踏まえ地域づくりのテーマを次のように設定します。

生活利便性向上をめざした安全で暮らしやすいまちづくり

生活と商いが融合した活気あるまち

まちの玄関にふさわしいにぎわいのある駅前空間

地域の貴重なみどりを保全しつつ、人々が憩い、交流のできる空間の確保

（５）地域づくりの基本方針

地域づくりのテーマを実現していくための基本方針を、各部門において次のように設定します。

① 土地利用の方針

1) 住宅地

- 身近で広大なみどりによる落ち着いたうるおいのある低層住宅地の形成

巨椋池干拓田周辺では身近で広大なみどりと調和した落ち着いたうるおいのある住宅地の形成をめざすとともに、災害に強い安全で安心のできる住宅地としての居住環境づくりに努めます。

- 密集市街地の改善による良好な住宅地の形成

住宅が密集している区域では、必要な都市基盤等のあり方を検討するなどして災害に強い安全で安心して居住できる良好な住宅地の形成をめざします。

2) 商業地

- 地域の生活拠点としての機能の充実や魅力の向上

既存商店などが並ぶ近鉄小倉駅周辺では、個性的で特色のある生活と商いが融合した活気あるまちをめざすとともに、駅前やアクセス性の良さを活かした上で、任天堂資料館（仮称）の新たな魅力を加え、主要地方道城陽宇治線沿道には魅力ある商業・業務集積を誘導します。

3) 工業地

- 活力ある都市を目指すための新たな産業立地の検討

多様な働く場の創出により定住人口につなげられるよう、産業立地検討エリアでの企業立地実現に向け取組を進めます。本地域は、原則市街化を抑制する区域であることを踏まえ、農林漁業等との調整・連携を図りつつ、周辺環境および景観に配慮して検討します。

また、本地域は、新名神高速道路までのアクセスが良く、一団の用地の確保も期待できること、職住近接により人材確保がしやすいこと、操業による周辺環境への影響が少ないこと、企業ニーズが高いことから優先的に検討を進めます。

4) 農地

● 巨椋池干拓田を中心とした農地の保全

広大な巨椋池干拓田は市街化調整区域および農業振興地域であり、引き続きその保全・振興に努め、地域に密着した農業の振興とバランスのとれた土地利用となるよう恵まれた自然・農業環境の維持・保全に努めます。

また、巨椋池干拓田はそこに生息する多種多様な生物と人々の交流の場であることから、これらの広大なオープンスペースとしての保全にも努めます。

② 交通の方針

1) 公共交通

● 近鉄小倉駅の交通結節点機能の強化

まちの玄関にふさわしいにぎわいのある駅前空間となるよう近鉄小倉駅周辺の整備を関係機関と連携し進めます。また、個性ある駅東西の地域を連絡することでまちの活性化につなげるとともに水害など災害時の避難通路とするなど防災力向上を検討します。

さらに、中枢拠点をはじめ他の拠点とまちの魅力を共有できるようまちづくりと一体となった交通ネットワークの構築と、既存公共交通を基盤とした地域住民の新たな移動ニーズへの対応などを検討します。

2) 道路

i 幹線道路

● 主要地方道城陽宇治線等の整備・改良促進

主要地方道城陽宇治線や主要地方道八幡宇治線の整備・改良については、沿道にある商業地・住宅地の居住環境へ配慮しながら、関係機関と協力して進めます。また、主要地方道城陽宇治線については近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構想を踏まえた道路のあり方を検討します。

ii その他道路

● 生活道路の整備

市道小倉安田線をはじめ地域内の日常生活における主要な道路については、歩行者の安全性を考慮した整備、改良を検討します。

③ 自然的環境の保全および景観形成等の方針

1) 自然的環境

● 自然的環境の保全

小倉地域の特徴的なみどりである巨椋池干拓田、井川の桜並木など、身近なみどりと調和したゆとりのある生活空間をつくるため、地域の美化、緑化活動など、良好な環境づくりに努めます。

2) 公園・緑地

● うるおいがあり安らぎのある場の創出

西宇治公園はみどりと交流の拠点としてその機能をさらに充実させます。また、かつての巨椋池を思い起こさせるみどりが豊かな場所、歴史的な雰囲気を感じさせる場所および井川沿いなどに、散策空間を設けるなど、うるおいと安らぎのある場の創出を検討します。

3) 文化・歴史的遺産

● 神社仏閣の保全

旧大和街道沿いにある巨椋神社や地蔵院、観音寺などは地域独特の歴史的遺産であり、その保全や境内周辺の樹木の保全に努めます。

4) 景観

● 旧大和街道沿いの歴史的遺産の保全

旧大和街道沿いの旧小倉村地区などの歴史的なまちなみは、周辺の景観なども含めて宇治市景観計画等による景観形成の検討を行います。

④ 都市防災の方針

● 防災拠点の活用

西宇治公園を西宇治地域の地域防災拠点として現地対策本部、応援部隊の集結場所など救援活動の拠点の場として、都市防災機能を有した公園として活用します。

● 浸水に対する防災機能強化

小倉地域はかつて巨椋池があったことから土地が低く平坦であり、浸水被害が課題となっています。特に、井川などの流域では雨水流出抑制策も含め総合的な治水対策の推進に努めています。

● 災害リスクの情報共有

地域内には、水災害リスクの高い地域があります。ハザードマップなどを用いて、市民と浸水の危険性のある地域の情報の共有に努めます。

⑤ まちづくり活動の方針

● ふるさととして将来にわたせるまちづくり

地域に住む人々が小倉地域への愛着を育み、子どもたちに将来胸を張って伝えることができるまちにするため、町内会や各種地元協議会にて文教施設やコミュニティセンターなどを拠点としたまちづくりをめざします。

小倉地域 地域づくり基本方針図



土地利用の方針

- 良好な住宅地の保全と改善
- 身近で広大なみどりによる落ち着きと潤いのある低層住宅地の形成
- 密集市街地の改善による良好な住宅地の形成
- 地域の「生活拠点」としての機能の充実や魅力の向上
- 同（拠点整備）
- 地域内農地の保全
- 活力ある都市を目指すための新たな産業立地の検討
- 産業立地検討エリア

自然的環境の保全および景観形成等の方針

- うるおいがあり安らぎのある場の創出
- 自然的環境の保全
- 神社仏閣の保全や周辺の樹林の保全
- 旧大和街道沿いの歴史的遺産の保全

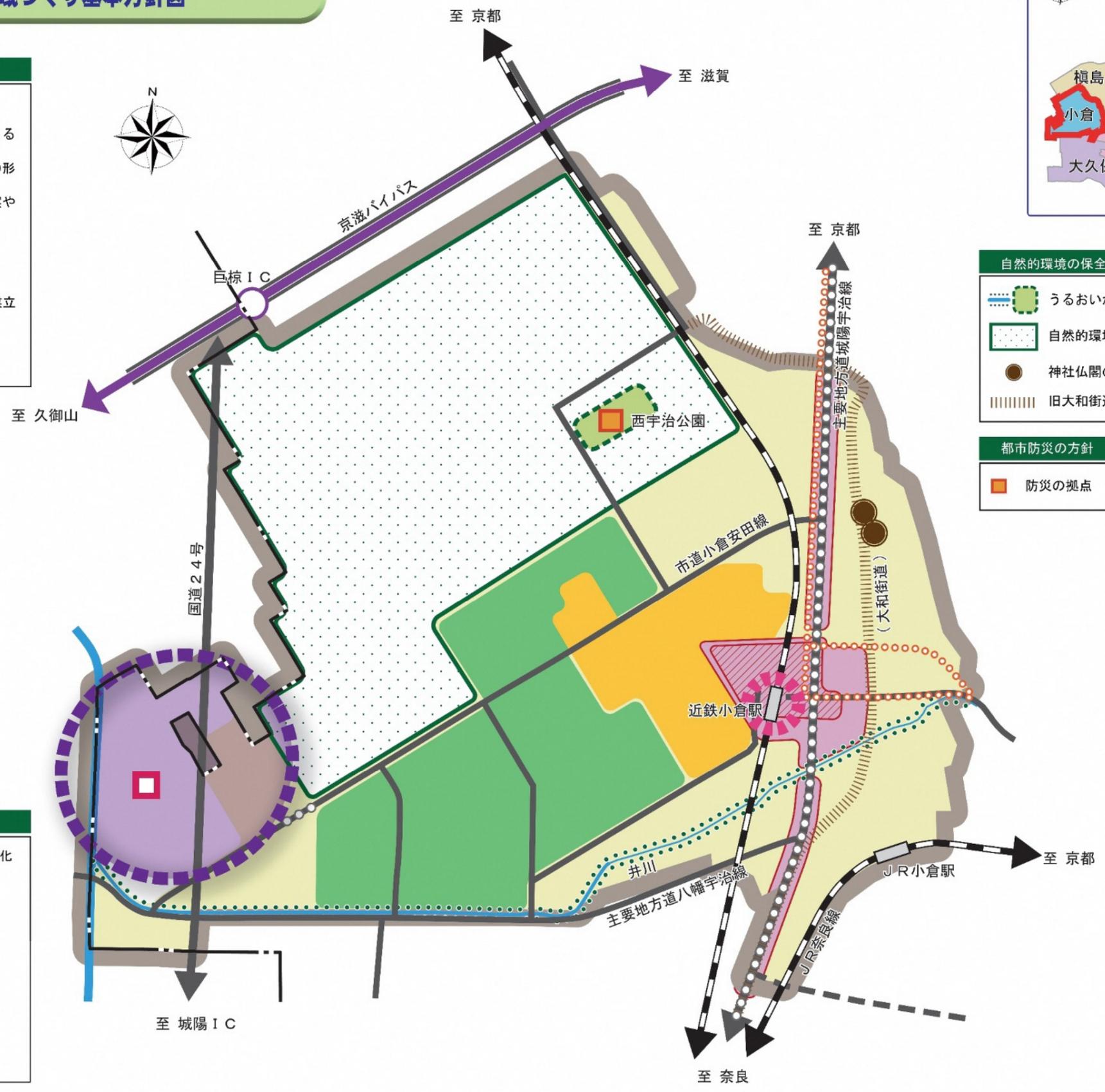
都市防災の方針

- 防災の拠点

交通の方針

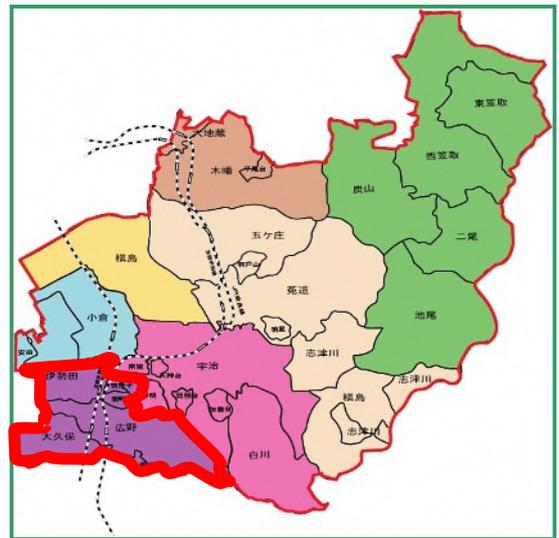
利便性の高い交通施設の充実と交通結節機能の強化

- 交通結節機能の充実
- バスなど公共交通の利用促進
- 地域生活を支える道路網の整備
- 幹線道路の整備
- 主な道路
- 計画路線



6 大久保地域

(大久保町・伊勢田町・広野町
羽拍子町・開町・寺山台・神明)



(1) 地域の特徴

大久保エリア

○市の南部に位置し、近鉄大久保駅、JR 新田駅および近鉄伊勢田駅があるほか、主要地方道城陽宇治線や主要地方道宇治淀線などの幹線道路が集中しており、城陽市、久御山町をつなぐ交通の要所となっている地域です。

○みどりが多く残る名木川をはじめ、宇治市植物公園、山城総合運動公園、ふれあいの森などがあり、住宅地の近くで身近に自然が楽しめる地域です。

伊勢田エリア

○近鉄伊勢田駅を中心とした、昭和 40 年前後から形成された市街地で、密集した住宅地が形成されている地域です。



（２）地域の現状

土地 利用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 城陽市、久御山町域と一体的の生活圏を有している地域です。 ○ 主要地方道城陽宇治線の両側には住宅地が広がり、地域の約 7 割を占めています。 ○ 鉄道の東側地域には自然や公園、文教施設と低層な住宅地がバランス良く形成されています。 ○ 住居、商業のニーズが高く、府道沿道（南側）の工業的土地利用が減少傾向となっています。 ○ 市内で唯一工業専用の地域（フェニックスパーク）を設けています。 ○ 地域内には、近鉄大久保駅の西側の多くが陸上自衛隊大久保駐屯地であり、商業地が同駅を中心に主要地方道城陽宇治線に沿って形成されています。
交 通	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身体障害者や高齢者などすべての方が安全に移動できるよう、大久保駅周辺地域バリアフリー基本構想を策定し取組を進めています。 ○ 平成 18 年に大久保駅周辺地区整備構想を策定し、当面の取組である近鉄大久保駅駅前広場の整備や新宇治淀線の開通、JR 新田駅東口新設、東側駅前広場の整備により、快適な歩行空間の確保や交通結節性の向上が図られました。 ○ 平成 30 年に近鉄伊勢田駅周辺地区交通バリアフリー基本構想を策定し、エレベーターの設置などバリアフリー化が実施されています。
環 境 ・ 公 園 ・ 景 観 ・ 緑 地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域内には、みどりが多く残る名木川をはじめ、宇治市植物公園、山城総合運動公園、ふれあいの森などがあり、身近に自然が楽しめます。
都 市 防 災	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大久保や伊勢田周辺の旧市街地は道路も狭く防災上も問題が多くなっています。 ○ 近年の頻発化、激甚化する水害等により、浸水や土砂災害など災害リスクが高い地域があります。

（３）これからの地域づくりの主な課題

<ul style="list-style-type: none"> ■ 工業系の地域においても、住居、商業のニーズが高く、府道沿道（南側）の工業的土地利用が減少傾向であり、近鉄大久保駅西側には広大な陸上自衛隊大久保駐屯地（約 43ha）が位置しており、これ以上の産業集積は困難です。 ■ 隣接する城陽市、久御山町との連携による一体性や相乗効果による、まちづくりの検討が必要です。 ■ 隣接した市町と連携したまちづくりを支援する道路ネットワークの検討が必要です。 ■ 地域内には洪水浸水想定区域などが存在することから、ハザードマップなどによる災害リスクの共有と、既成市街地における防災能力の向上が必要です。

（４）これからの地域づくりのテーマ

現状と課題、地域意見を踏まえ地域づくりのテーマを次のように設定します。

大久保エリア

にぎわいのある商業・業務集積空間の形成

鉄道網の利便性を高める都市基盤の充実

地域内の水やみどり、文化・歴史の保全・活用

良好な既存住宅の保全と改善

伊勢田エリア

良好な既存住宅の保全と改善

（５）地域づくりの基本方針

地域づくりのテーマを実現していくための基本方針を、各部門において次のように設定します。

① 土地利用の方針

1) 住宅地

●現在の住環境を大切にしながら良好な住宅地の保全と改善

地区計画の活用などにより築いた、現在の住環境を大切にしながら、より快適な住宅地の形成をめざします。

●みどりと文教の薫り高い落ち着いた着きのある低層住宅地の形成

東部の豊かな自然に囲まれ、文教施設が数多く立地することを踏まえ、文教の薫り高い落ち着いた着きのある低層住宅地の形成をめざします。

広野町や寺山台などの背後に緑地が多く見られる台地部では、みどりに囲まれた住宅地の環境を維持しつつ、災害に強く眺望のよい安全・安心できる住宅地としての居住環境づくりに努めます。

また、高齢化の進行等による身近な買物・サービス施設の必要性など市民ニーズの変化に対し、土地利用の方針を踏まえ、立地の妥当性、周辺環境への影響を考慮した総合的な住宅地の形成を検討します。

2) 商業・業務地

● 宇治市の南の玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出

近鉄大久保駅および JR 新田駅周辺では、交通の利便性を活かした歩いて楽しいまちづくりをめざし、鉄道駅と連携した快適な歩行者空間づくりを検討するとともに、既存商店街の充実などにぎわいを創出することができる土地利用を誘導します。

また、近鉄伊勢田駅周辺では、必要な都市基盤などのあり方を検討するなどして商業活性化の検討を行います。

3) 工業地

● ものづくり産業拠点の振興

大久保地区地区計画（フェニックスパーク）の区域については、今後も市の主要な「ものづくり産業拠点」として、健全かつ適切な土地利用を行い、産業の振興を図ります。

4) 森林地・緑地等

● 地域の重要な自然的環境である東部の森林地・緑地の保全

山城総合運動公園や植物公園が位置する東部の森林地・緑地はうるおいのある重要な自然的環境であることから、その活用と保全に努めます。

② 交通の方針

1) 公共交通

● 各駅周辺における交通結節機能の強化および鉄道網の利便性向上

地域内の各駅の交通結節点機能について検討することにより、鉄道やバスなどの公共交通の利便性向上と周辺市町のまちづくりと一体となった利用促進を図ります。また、JR 奈良線の複線化による定時性確保や保安度の向上を進めます。

2) 道路

i 幹線道路

● 主要地方道宇治淀線および主要地方道城陽宇治線の整備促進

朝夕の交通渋滞の緩和や安全性向上のため、駅へアクセスする主要地方道宇治淀線および主要地方道城陽宇治線の拡幅など道路整備について引き続き関係機関と協力して進めます。

ii その他道路

● 歩行者の安全が確保され、防災的な機能も有する道路網の改善

市道南山蔭田線をはじめ、日常生活に密着している主要な道路については、歩行者の安全性を考慮した整備・改良を検討します。

③ 自然的環境の保全および景観形成等の方針

1) 自然的環境

● 良好な緑地の維持・保全

東部の森林地・緑地は市街化調整区域として引き続き自然的土地利用の保全を基本としながら、周辺の美化活動、みどり溢れるオープンスペースの整備など、良好な緑地の維持・保全に努めます。

2) 公園・緑地

● 名木川を中心としたみどり豊かな空間づくり

名木川については貴重なオアシスとして、その河川沿いに散策道を整備しており憩いのある空間の保全に努めます。

また、街路樹の植栽などにより周辺の緑地等とのネットワーク化を図り、みどり豊かな空間の形成をめざします。

● 多様な公園の整備と緑化の推進

山城総合運動公園および植物公園はみどりと交流の拠点として、引き続きその利活用と機能充実を進めるとともに、市街地内にある生産緑地については、保全・活用を図るため、特定生産緑地の指定に努めます。

3) 文化・歴史的遺産

● 史跡や周辺の樹林の保全

庵寺山古墳などの史跡を保全するとともに、圓蔵院や旦椋神社などの神社仏閣についてはその保全や境内周辺の樹林の保全に努めます。また、これらの歴史的遺産や名木百選などを結ぶルート of 整備などにより、貴重な資源の活用を検討します。

4) 景観

● 秩序ある市街地景観の形成

商業地については、建築物や広告物を適正に誘導します。また、住宅地については生垣や敷地内緑化などを推進することにより、個性と魅力あるみどりに囲まれた景観を創出していきます。

● 旧奈良街道・大和街道沿いの景観の保全

旧奈良街道・大和街道沿いのまちなみは、周辺の景観なども含めてその保全に努めます。

④ 都市防災の方針

● 浸水に対する防災機能強化

地域内の河川・水路では局地的豪雨などによる浸水被害が課題となっています。特に、名木川・井川などの流域では、雨水流出抑制策も含め災害の軽減に向け総合的な治水対策の推進に努めます。

● 災害リスクの情報共有

地域内には、水災害リスクの高い地域があります。ハザードマップなどを用いて、市民と浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有に努めます。

⑤ まちづくり活動の方針

● 個性的で豊かな地域コミュニティの形成

水やみどりの自然と調和する利便性の高いまちづくりのため、文教施設やコミュニティセンターなどの活用により、商業地、工業地をかかえる大久保や住宅地である伊勢田ならではの個性的で豊かな地域コミュニティの形成をめざします。

大久保地域 地域づくり基本方針図



土地利用の方針

- 良好な住宅地の保全と改善
- みどりと文教の薫り高い落ち着いた低層住宅地の形成
- 玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出（駅前広場整備など）
- にぎわいと活力ある都市空間の創出
- ものづくり産業拠点の振興
- 地域の重要な自然的環境である東部の森林地・緑地の保全

交通の方針

各駅周辺における交通結節機能の強化及び鉄道網の利便性の向上

- 交通結節機能の充実
- 鉄道網の利便性向上（複線化）
- バスなど公共交通の利用促進
- 地域生活を支える道路網の整備
- 幹線道路の整備
- 主な道路

都市防災の方針

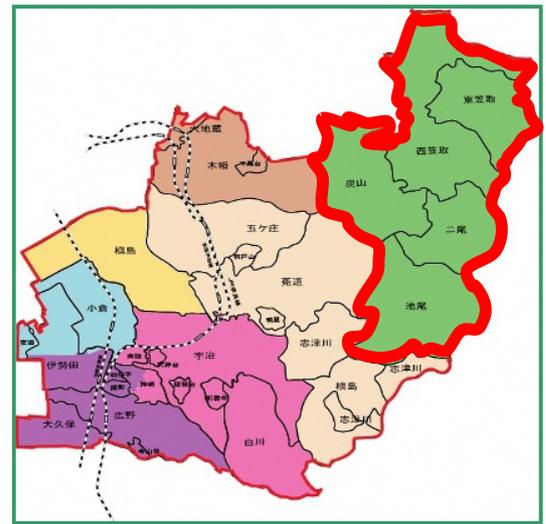
- 京都府広域防災活動拠点

自然的環境の保全および景観形成等の方針

- 良好な緑地環境の維持・保全
- 名木川を中心としたみどり豊かな空間づくり
- 多様な公園の整備と緑化の推進
- 史跡や周辺の樹林の保全
- 旧奈良街道・大和街道沿いの歴史的遺産の保全

7 山間地域

(炭山・二尾・池尾・東笠取・西笠取)



(1) 地域の特徴

- 宇治市の北東部に位置し、市域の3分の1を占めています。京都市、大津市、宇治田原町と接し、地域の中央を東西に京滋バイパスが横断しており笠取インターチェンジがあります。
- 山間地域は都市計画区域外の炭山、二尾、池尾、東笠取、西笠取の5地区からなっており、それぞれの地区の特徴を活かし地区ごとにまとまりながら暮らしています。
- 地域の中央には標高370mの笠取山があり、南側には宇治川が流れているなど自然が豊かな地域で、豊かな水とみどりに囲まれた地域です。
- 東笠取では自然農法が取り組まれ、西笠取では自然をふんだんに取り込んだ野外活動センターであるアクトパル宇治があるなど、魅力の発信がされています。
- 炭山は昭和の後半になって京都市内から京焼の伝統を持つ工芸家が相次いで炭山に陶窯を移し、各種の陶器を生む工芸家の集落が形成されており、陶芸等の資源を活用して地域の活性化を図っている地域です。



（２）地域の現状

<p>土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 山林が約 9 割を占めており、谷底平野に集落と田畑があります。 ○ 資材置き場や倉庫などの土地利用が見られるほか、山間部への不法投棄が目につきます。また、汚水が川に流れ込み水質汚濁が進むなど、環境への影響が懸念されています。 ○ 農業では、畑を猪や鹿などに荒らされるなど、農作物への被害が表面化しています。また、東笠取に農業振興地域があることから、高齢化、人口減少による後継者の問題や今後の土地利用の方向性が課題となっています。
<p>交通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 京都市、大津市と宇治田原町に接し、地域の中央を東西に京滋バイパスが横断し、笠取インターチェンジがあります。 ○ 宇治川沿いには、大津市へ通じる主要地方道大津南郷宇治線と、六地藏方面へ通じる一般府道二尾木幡線があります。 ○ 地域内には公共交通機関がなく、移動は自動車に依存していますが、炭山地区では助け合い移動支援事業の取組が行われています。
<p>公園、環境、緑地、景観地、</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然が豊かな地域で豊かな水とみどりに恵まれ、ホタルも多く生息しています。 ○ アクトパル宇治には、野外活動施設と合わせグラウンドゴルフ場も整備され、多くの域外の市民が訪れています。
<p>防災</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 京都府南部豪雨災害では、道路や河川の被害、土砂災害により道路すべてが遮断され、ライフラインが寸断され、一時地域が孤立する状態となりました。 ○ 地域内は大部分が山林で占められており土砂災害の危険性の高い地域があります。ハザードマップなどを用いて、浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有が必要です。

（３）これからの地域づくりの主な課題

<ul style="list-style-type: none"> ■ 人口減少、高齢化が特に進行しており、地域づくりの担い手や魅力の発信が不足しています。 ■ 社会的ニーズの変化を踏まえ、地域に必要な移動手段を確保するため既存公共交通を基盤とした新たな移動ニーズへの対応が必要です。 ■ 地域内には土砂災害警戒区域が多数存在することから、ハザードマップなどによる災害リスクの共有と、防災能力の向上が必要です。 ■ 地域生活を支える道路の安全性の向上が必要です。 ■ 地域内の児童数が少なく、地域交流の中核である小学校の存続や教育環境の充実が求められています。
--

（４）これからの地域づくりのテーマ

現状と課題、地域意見を踏まえ地域づくりのテーマを次のように設定します。

不法投棄を防止し宇治の誇りである自然の保全

豊かな自然環境と調和した地域振興

安心して住むことができる生活環境の充実

地域内の観光・レクリエーション施設や豊かな自然を活用したまちづくり

将来のまちの姿を共有し、住民によるまちづくり活動の支援

（５）地域づくりの基本方針

地域づくりのテーマを実現していくための基本方針を、各部門において次のように設定します。

① 土地利用の方針

1) 山間集落地

● 集落毎のまとまりを大切にした、生活環境の向上

既存の家屋が一定の規模以上ある集落地については集落毎のまとまりを大切にしながら、生活環境の向上を図るために地域間を結ぶ道路などの整備を検討します。また、上水道の統合により安定した水道水の供給が図られましたが、引き続き生活排水処理機能の充実など住環境の向上を図っていきます。

2) 農地

● 優良農地・森林の維持・保全をするために、最適な土地利用を誘導

良好な自然環境が残された農業振興地域内農地および本地域内に多く残されている優良農地や森林は、生産活動の場として引き続きその維持・保全に努めます。

また、担い手の不在による遊休耕地の深刻化などは農林部局との調整を行いつつ、最適な土地利用を誘導します。

3) 森林地・緑地等

● 「山間自然ゾーン」で、緑地・農業を保全

貴重な自然や棚田などの優良な農地が残されている地域を「山間自然ゾーン」と位置づけ、その保全に努めます。

● レクリエーション資源の活用と自然環境を損なわない範囲での整備・活用

市民の散策やレクリエーションの場、そして地域の活性化を図るため、アクトパル宇治、東海自然歩道などの観光・レクリエーション資源や炭山の工芸のいとなみを活用した地域間交流の促進を進めます。

② 交通の方針

1) 公共交通

● 地域に必要な移動手段確保への支援

地域に必要な移動手段を確保するため、地域住民の主体的な取組に対して、既存公共交通との整合を図りながら、その運営に関する支援を行います。

2) 道路

● 地域生活を支える幹線道路網の充実

自動車利用による生活利便性を高めていくために、一般府道二尾木幡線や主要地方道大津南郷宇治線などの整備・改良を関係機関と協力して進めます。

③ 自然的環境の保全および景観形成等の方針

1) 自然的環境

● 農地や山地の保全と生活環境の維持・保全

農地や山地などは自然的土地利用の保全を基本としながら、全市民が協力して不法投棄の防止に努めるとともに、良好な生活環境の維持・保全に努めます。

● 宇治川、志津川、笠取川周辺の貴重な自然環境の保全と憩いの空間としての活用

本地域は志津川、笠取川の源流に位置しているため、市民の貴重な資源を確保するとともに、ホタルが生息するなど、貴重な自然環境の保全・育成に努めます。

2) 文化・歴史的遺産

● 地域内の神社仏閣の保全

八幡宮本殿（炭山）、称名寺（東笠取）などの神社仏閣の保全に努めます。

3) 宇治川周辺の緑地保全

● 地域資源の保全

宇治川周辺は琵琶湖国定公園に指定されており、うるおいのある地域の重要な資源でもあることから、「豊かな自然の象徴を守るエリア」と位置づけ保全していきます。

④ 山間地域の防災の方針

●土砂災害への対応

山間地域は大部分が山林で占められており、土砂災害の危険性が存在しています。土砂災害警戒区域をはじめ土砂災害の危険性がある地域では京都府南部地域豪雨災害でも大きな被害がでており関係機関と連携し、土砂災害対策に努めます。

●災害リスクの情報共有

地域内には、土砂災害のリスクの高い地域があります。ハザードマップなどを用いて、市民と浸水や土砂災害の危険性のある地域とともに、京滋バイパス、府道、市道などそれぞれの管理者を超えた地域アクセス道路の通行状況などの情報の共有に努めます。

⑤ まちづくり活動の方針

●里山の保全活動や交流の活性化の推進

本地域一帯に広がる市民の貴重な財産であり地域の誇りである自然のみどりを、自然環境の保全を実践していく場として、農業の振興、里山の保全、復元、活用に取り組みます。

また、地域内のみならず都市部との交流の活性化を図るため、アクトパル宇治などの公共施設をその交流の場として活用するとともに、炭山の工芸のいとなみなどを活かしたまちづくりを進めます。

●パートナーシップによるまちづくり活動の推進

山間地域では人口が少なく、少子高齢化が進んでいるため市民と行政とが連携したまちづくりを進めることが重要です。地域住民によるまちづくり活動として笠取第二小学校区では、地域の活性化と児童数増加に向け、学校とともに親子留学などの取組を進めています。

また、炭山地区では、すべての人が豊かな自然環境を活かし安心して楽しく住み続けられるまちづくりの実現に向けて取り組んでいます。宇治市では、こうした地域の将来のまちの姿を共有し、住民によるまちづくり活動を支援します。

山間地域 地域づくり基本方針図



土地利用の方針

- 集落毎にまとまりを大切に生活環境の向上
- 優良農地・森林の維持・保全
- 山間自然ゾーンとして緑地環境及び農業環境の保全
- 観光・レクリエーション資源の活用と自然環境を損なわない範囲での整備・活用

交通の方針

地域に必要な移動手段への支援
地域生活を支える道路網の充実

- 主な道路
- 地域に必要な移動手段への支援

自然的環境の保全および景観形成等の方針

- 農地や山地の保全と生活環境の維持・保全
- 宇治川、志津川、笠取川周辺の貴重な自然環境の保全と憩いの空間としての活用
- 地域内の神社仏閣の保全
- うらおいのある地域資源の保全

まちづくり活動の方針

- パートナーシップによるまちづくり活動の推進
- 活動拠点のエリア

